

# 社会福祉法人 千葉育美会

## 令和3年度 事業報告



### 特別養護老人ホーム波岡の家

短期入所生活介護  
通所介護  
居宅介護支援  
地域包括支援センター

### 特別養護老人ホーム花の里

短期入所生活介護  
通所介護  
居宅介護支援センター  
在宅介護支援センタ

### 特別養護老人ホーム浮間こひつじ園

- ・令和3年度第6回 令和4年3月28日(書面決議)  
議案 千葉銀行実籾支店より借入(案)の件  
令和3年度第1次補正予算(案)の件  
令和4年度事業計画(案)の件  
令和4年度当初予算(案)の件  
波岡の家建替え移転に関する物品等入札(案)の件  
浮間こひつじ園感染対策整備補助金入札結果及び契約(案)の件  
給与規定一部改正(案)の件  
評議員会開催招集手続き及び決議の省略の件

#### 評議員会

- ・令和3年度第1回 令和3年6月19日(書面決議)  
議案 令和2年度事業報告の件  
令和2年度決算報告の件  
社会福祉法人千葉育美会次期理事選任(案)の件  
社会福祉法人千葉育美会次期監事選任(案)の件
  
- ・令和3年度第2回 令和3年10月3日(書面決議)  
議案 社会福祉法人千葉育美会理事及び監事交代(案)の件  
特別養護老人ホーム波岡の家給食業務委託(案)の件
  
- ・令和3年度第3回 令和3年3月30日(書面決議)  
議案 千葉銀行実籾支店より借入(案)の件  
令和3年度第1次補正予算の件  
令和4年度事業計画(案)の件  
令和4年度当初予算(案)の件

社会福祉法人千葉育美会  
波岡の家  
令和3年度 事業報告書



特別養護老人ホーム 波岡の家  
波岡の家 短期入所生活介護事業所  
ディサービスセンター カメリアの園  
居宅介護相談センター 波岡の家  
木更津市南部地域包括支援センター

## 目 次

令和3年度事業概要.....	6
1. 理念と基本方針.....	7
2. 組織図.....	8
3. 特別養護老人ホーム.....	9
4. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）.....	12
【特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所 状況】.....	14
1. 入居者の状況.....	14
2. 行事、外出等の状況.....	17
3. 健康管理.....	18
4. 家族交流の状況.....	20
5. 地域福祉活動の実施.....	21
6. 職員研修.....	23
7. 実習生の受け入れ.....	24
8. 職員配置状況.....	24
9. 資格取得状況.....	25
5. デイサービスセンター カメリアの園.....	26
利用者動向.....	28
6. 看護グループ.....	30
年間実績.....	32
7. 栄養グループ.....	33
年間実績.....	34
8. 総務グループ.....	35
年間実績.....	36
9. 居宅介護相談センター波岡の家.....	37
請求実績.....	38
新規受け入れ数及び相談先.....	38
利用終了者数及び終了理由.....	39
年齢別利用者数・地域別利用者数・世帯状況.....	39
外部研修参加実績.....	40
10. 南部地域包括支援センター.....	41
1 相談.....	43
2 権利擁護業務.....	44
3 会議、研修会の開催、又は参加、及びPR活動等について.....	44
4 介護予防支援業務（予防給付関係）.....	44
5 訪問状況.....	45
別紙1 令和3年度 認知症サポーター養成研修 実績.....	45
別紙2 令和3年度 研修参加実績.....	45
別紙3 令和3年度 地域活動.....	46

## 令和3年度事業概要

令和3年度につきましては、昨年度冬季から新型コロナウイルスクラスター終息から、年度がスタートする事となり、各部門クラスター後の対応から、影響による稼働率の低下及び職員離職と、対応に追われる状況でした。合わせて、当施設建替え移転工事が本格化し、移転準備も本格化しました。

まずは、クラスター発生の影響による稼働率の改善を図るべく、各部門立て直しを図りました。しかしながら、結果は直ぐに表れず、年間を通じて苦しい時期となりました。事業所のみならず、これまで注力していた栄養部門も影響は大きく、食事提供の改善も直営での自力での回復は難しく、給食会社へ委託することとなり、入所者様には多大なご迷惑をおかけしました。

年度後半からは、感染対策が功を奏し、施設内で感染が広がることなく、稼働率の改善に繋げる目途がたちましたので、次年度に繋がれると考えます。

特別養護老人ホームでは、稼働率は87.8%で推移をしました。前年度比較約5.2%の落ち込みがあります。要因としては、昨年1月からの新型コロナウイルスクラスター発生による、多くの退所者が出たところからの年度スタートとなり、新たな入所者が決定するも退所者が出る状況が続き、満床に戻すまでに約1年の歳月を費やしました。また、クラスターの影響から職員の離職もあり、職員減での業務を見直し、非常勤職員採用を積極的に行い、体制を立て直しています。そのような状況の中でも、入所者の生活の質を落とさないよう、生活に楽しみがあることを大事に取り組みました。ショートステイ稼働率も59.6%と大きく稼働率を低下させてしまいましたが、緊急ショートの受入れや虐待事例など、内外問わず、感染リスクの高い中での受入れを行ないました。

デイサービスでも、特養の併設である為、クラスターの影響からサービスを中止していました。受け入れ再開をしましたが、様子見利用の方、回数減での再開となり、52.3%の稼働率という結果となりました。デイサービスとしては、少人数でもご利用される方に良いサービス、少ない人数での取り組みを積み上げることを基本として、後期には新規利用者や利用回数増に繋がり、今年度に改善の目途も見込まれるようになりました。しかしながら、他のデイサービスで陽性者が発生したり、ご家族からの感染など、一番感染のリスクが高い部門でもあり、感染対策を講じながら対応します。

居宅事業所及び地域包括では、世情に踏まえ、活動自粛と再開を繰り返す年度でありました。業種的に訪問対人援助であり、また、各ご家庭やご本人の感染に対する意識はそれぞれ異なり、合わせたマネジメントと、自粛によるご本人の活動の低下が著明に見られ、どのようにすべきかが、居宅及び包括の悩みでもありました。その中でも、研修や会議はオンライン化がどの部門より早く進み、対応する事ができました。今後は、オンラインで多岐にわたり、対応すべき準備をいたします。

コロナウイルスが発生して、長い月日が経過しました。未だ終息の兆しは見えませんが、ワクチン接種やオンラインでの会議や研修、感染対策など日々変化しています。当施設は次年度建替え移転を迎える年です。移転にあたり、新たな場所で地域に根ざした施設となる為、これまでの経験を活かし、地域との顔の見える関係づくり、地域から頼られる施設となるよう、努めてまいります。

施設長 佐々木英幸

## 1. 理念と基本方針

### 【 法人理念 】

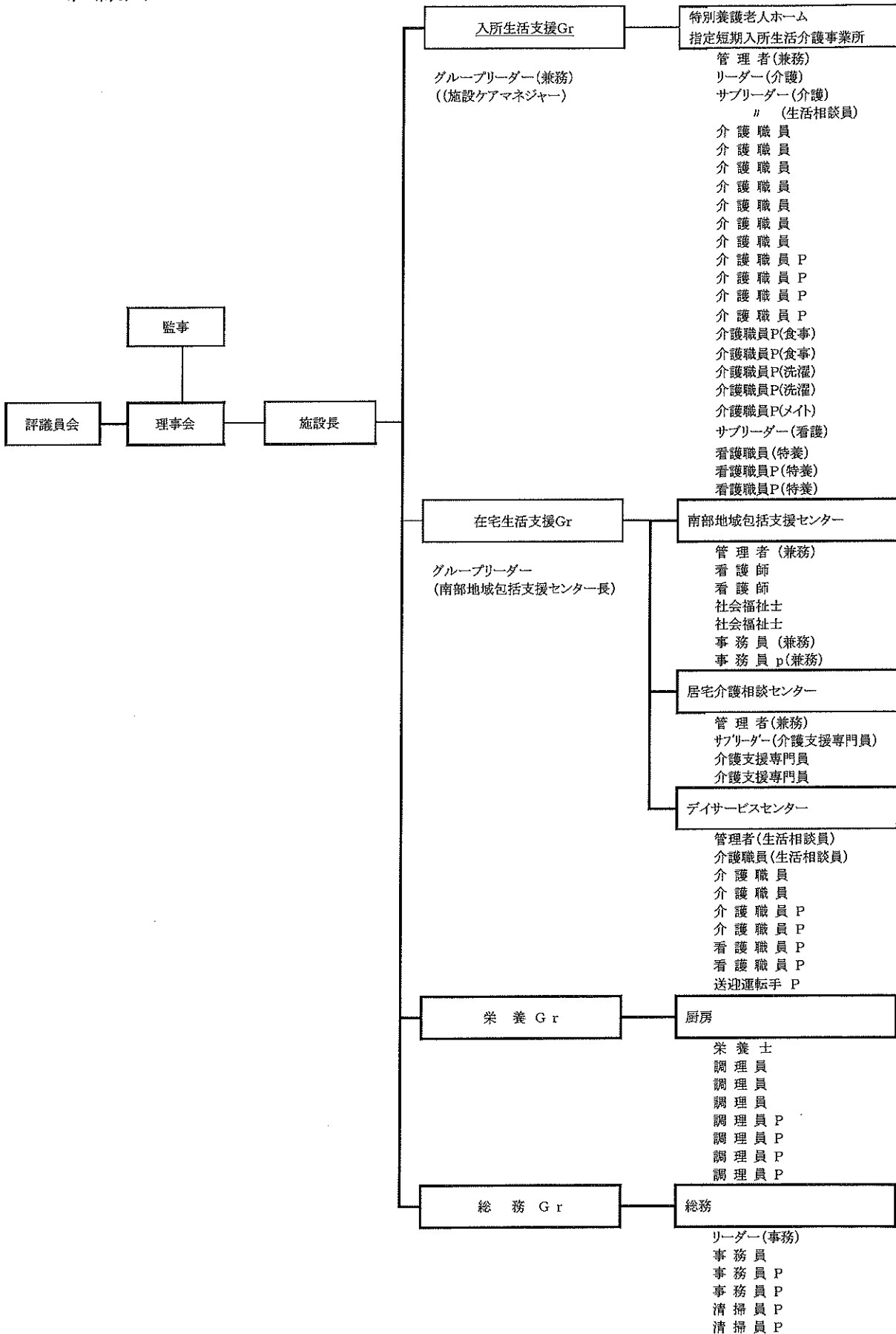
『ご利用者の尊厳を守り、その人らしく  
笑顔で生活できることを支援します』

### 【 波岡の家 基本方針 】

- 1、 利用者の意思による自己決定の尊重をします。
- 2、 地域に開かれた施設を目指します。
- 3、 利用者、家族に信頼される職員となることを目指します。

## 2. 組織図

令和3年3月31日現在



## 5 特別養護老人ホーム

### 【目 標】

- ・QOLの向上
- ・前年度実績93%を踏まえ、稼働率95%、平均入所者数47.5人にします

### 【重点課題】

1. 丁寧、配慮ある支援、楽しみのある生活
2. アセスメントとケアの繋がり理解
3. 事故防止対策の徹底
4. 職員の意識改善、能力向上

### 【実践結果】

特別養護老人ホームについては前年度実績93%の稼働状況を踏まえ、本年度は95%の稼働率を目標に掲げておりました。前年度発生したコロナウイルス発症、クラスターによる稼働率の大幅減少と、職員不足も重なり空所早期解決に繋がる解決策が打てない状況が続いてしまいました。

また、体制的にも組織体制を変更した、リーダーへ昇格した職員、増員したサブリーダー共に休職してからの退職が続いた状況と、日勤帯と夜勤が可能な職員の退職も重なり、夜勤可能な職員が減り、夜勤可能な職員の夜勤数も増えてしまった為、負担軽減の為各委員会やグループの会議も中断していることも続き、様々な機能が滞ってしまった状況です。令和4年度には施設移転も控えている為、早急に職員の増員と共に、現場職員の体制見直しと構築を行いながら、移転後の展開を継続検討します。

日々のケアについては、質を低下させないように、ご利用者が楽しみのある生活を送れるよう職員全体に呼びかけるよう日々の業務に励んでいました。しかし職員不足もかいしょうされない中、退職者や夜勤職員の夜勤数増加の影響も踏まえ、現場としては更に厳しい状況に陥りました。各委員会やグループ会議も止めたことから、色々なことが停滞してしまいました。荷中もEPA職員と、新しく入社した職員、また非常勤職員でのシフトも多いため、職員一人一人意欲や能力向上にアプローチしながら意識改善も行いながら、移転後の動きや体制も踏まえ準備、編成を行います。



### 1、丁寧、配慮ある支援、楽しみのある生活

職員不足から業務優先になってしまっているケアが続いている状況の改善を図る為、日々の生活での会話や身だしなみや身の回りの整理等から配慮することで、入所者様の個性も大切にしながら楽しみのある生活を目指してきました。上半期では職員の意識づけが定着してきましたが、下半期に関しては職員の離職から、更なる職員不足が生じ、ご利用者様との会話からケアに繋げる事も難しい状況に陥りました。年間通して職員の意識改革が多少進んだ程度で、ご利用者様個々の個性も重視しつつ、楽しみのある生活を送っていただくという面では、課題が残っています。

### 2、アセスメントとケアの繋がり理解

昨年度グループを細分化したことによりご利用者様の情報量が増え、より深く検討できた反面情報量が増え過ぎ情報共有が難しくなってしまった状況から、グループ数を元に戻し情報共有しやすい状態へ戻しました。ご利用者様との会話から、言動や嗜好からも情報を収集することで、食事・排泄・入浴等の、あらゆる生活面のケア方法の見直しを行っていましたが、上半期は情報収集に留まってしまい、下半期では、職員不足により担軽減の為会議を中止したため情報を話し合う場を設ける事も難しくなり、本来の情報共有にまで至っていません。今後は会議を開催できない状況でも書式による情報共有等も試みながら課題の解決に向けて動きたいと思えます。

### 3、事故防止対策の徹底

今年度骨折を伴う重大事故は発生しておりません。全体の事故件数に関しては増加傾向です。多動による座り損ねでの事故発生が最も多く発生。介護中の転倒や転落事故、その他徘徊されているご利用者様の転倒や、施設外への徘徊も見られています。忙しい中で確認作業や危険予測を行いつつながら、転倒リスクの高い徘徊者への付き添いも行っている状況の上、職員不足による見守り職員不足も要因の一つと考えられます。その他では職員個々に介助方法や行動の再確認も必要であると思えます。勉強会や情報共有を通じ、事故防止につながるよう取り組んでいきます。

### 4、職員の能力向上と発揮ができるよう取り組みます

今年度も、癌部研修に関してはコロナウイルスの影響もあり、新人のリモート研修以外参加できていない状況です。内部の勉強会に関しては、KYT 事故予防や吐物処理方法の勉強会を実施しています。職員不足のより、各委員会を中止したことも含め勉強会や内部研修の開催も実施できませんでした。今後は勉強会に関しては、書式による資料提供での勉強会や、その他オンライン研修も検討し、勉強会研修共に企画、開催の取り組みを行いたいと思えます。

【業務スケジュール】

	行事 イベント	勉強会 他	活 動
4月	お花見		
5月	鯉幟バレー		KYT 事項防止勉強会
6月	筍堀り		感染対策(嘔吐物処理)勉強会
7月	七夕		KYT 事項防止勉強会
8月	スイカ割り		
9月	敬老会		
10月	運動週間		
11月	秋のお茶会		
12月	映画鑑賞会		
1月	初詣写真撮影会		
2月	節分写真撮影会		
3月	雛祭り写真撮影会		

毎月、お誕生日会または誕生者外食  
 毎月、季節にちなんだ行事、レクリエーション  
 月1回、体重測定

## 4. 波岡の家短期入所生活介護事業所(ショートステイ)

### 【 目 標 】

ケアプラン・アセスメントを適切に活用しながら、利用中の生活を充実させるサービス提供を行います。前年度実績 71%を踏まえ、稼働率 80%・平均利用者数 7.2 人にします。

### 【 重点 課 題 】

1. 利用者の変化に合わせたニーズを把握し、正確な情報を共有することで、質の高いサービス提供に繋がります。
2. 個々の過ごし方について見直しを行い、ショートステイ中の生活を充実させます。

### 【 実 践 結 果 】

前年度末に起こった新型コロナウイルスクラスターにより、一時稼働率は 30%台に落ち込み、クラスター発生後における職員の休職や退職、再感染の不安、新規利用者への警戒、利用控え等、影響が強く残っている状況の中、今年度は 50%台からのスタートとなりました。3・4・5 月で、ショートステイ利用が長くなってきている方の長期入所への移行があり、夏にかけては 30~40%という低稼働率で経過。緊急や、長い利用希望の方の受け入れなども行い、今年度は 15 名の方が新たに利用されています。ただ、新規の方も定期利用に繋がるケースは少なく、加えて長い利用の方は長期入所に移行するケースもあったため、秋にかけて徐々に稼働率も 70%台まで上がって来ていましたが、最終的には平均稼働率 59.6%という結果になってしまいました。

ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染状況も変わってきていますが、今なお楽観視できる状況とは言い難いです。今年度は、新規利用者の初回利用前の検査実施、送迎時の検温・ご家族の体調確認、施設内消毒の徹底や毎日のマスク交換・声かけ等、感染予防対策を継続しています。

次年度は、施設移転が夏に控えています。ショートステイにおいては、多床室から個室に変わることで、料金形態も大幅に変わります。利用者・家族への丁寧な説明・支援を心がけ、不安の解消に努めていきます。また、新しい環境に変わることで、求められるケアの質も、業務内容も大きく変わっていくことが考えられます。利用者の皆様ができる限り混乱なく、新しい環境でもよりよいケアを受けながら過ごせるように、体制の整備に努めていきます。

1. 利用者の変化に合わせたニーズを把握し、正確な情報を共有することで、質の高いサービス提供に繋がります。

利用者の ADL 変化に合わせた情報は、今まで同様、申し送りノートや個別の情報提供を実施しています。また前年度に挙げた、情報が周知されているかの確認が不足している点に関しては、新規利用の方や、重要な情報提供の際にチェック表も添付し、それぞれの職員の確認状況を把握するようになりました。また、施設内のケアの情報収集などは、記録で不足している部分は直接の聞き取りなどで補っています。ただ、人員不足などもあり、多職種による面接同行や、アセスメントを活用した基本情報の更新などは行えていません。

次年度の移転に際しては、利用者に対して更に質の高いケアを行っていくために、今までのやり方を変えていくべきところも多く出てくると予測できます。柔軟に考えながらも、利用者の生活に寄り添い、正確なニーズ・情報の把握、共有に努めます。

2. 個々の過ごし方について見直しを行い、ショートステイ中の生活を充実させます。

それぞれの利用者になるべく好きなように過ごせるよう、日常のケアによる補助などは行ってきましたが、人員不足などから、個々の過ごし方まで細かに検討することはできませんでした。また、大勢で集まるような行事や、ボランティアの方によるイベントなどは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、今年度もできない状況でした。

移転後は、ショートステイはユニットケアとなるため、生活の充実のために個々の過ごし方を検討して

いくことは必須となってくると考えます。

【 業務スケジュール 】

月	行事・その他	業務内容
4月	お花見	個人ファイルの整理 ケアプラン更新状況の確認 更新
5月	端午の節句 母の日	個人ファイルの整理 ケアプラン更新状況の確認 更新
6月	介護者教室	個人ファイルの整理 ケアプラン更新状況の確認 更新
7月	七夕 波岡の家 夏祭り (規模縮小し実施) 大久保 夏祭り (中止)	ケアプラン更新
8月	先祖供養 (中止)	ケアプラン更新
9月	波岡の家 敬老会 (規模縮小し実施)	ケアプラン更新
10月	波岡地区敬老の集い (中止)	ケアプラン更新
11月	波岡地区文化祭 (中止) 介護者教室 (中止)	ケアプラン更新
12月	クリスマス会	ケアプラン更新
1月	正月	ケアプラン更新
2月	節分	ケアプラン更新
3月	雛祭り 介護者教室 (中止)	ケアプラン更新

## 【特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所 状況】

### 1、入居者の状況

- (1) 年齢・性別状況
- (2) 要介護度の状態区分
- (3) 在籍期間
- (4) 月別延人数・入所稼働率
- (5) 入所稼働率の比較
- (6) 入退所者の状況

### 1、入居者の状況

令和3年度末現在での、入居者の年齢・性別状況は「表-1」の通りです。

男性の平均年齢は79.8歳、女性の平均年齢は86.1歳、全体の平均年齢は84.6歳となっています。90歳以上の方が全体の45%を占めている状況となっており、最高齢の入所者は100歳で2名いらっしゃいます。

#### (1)年齢・性別の状況

「表-1」

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満			0	0%
60歳～64歳		1	1	2%
65歳～69歳	3	1	4	9%
70歳～74歳	2	1	3	6%
75歳～79歳	2	4	6	13%
80歳～84歳		3	3	6%
85歳～89歳		9	9	19%
90歳～94歳	3	12	15	32%
95歳～99歳		4	4	9%
100歳以上	1	1	2	4%
合計	11	36	47	100%
平均年齢	79.8歳	86.1歳	84.6歳 (全員平均)	

#### (2)要介護度の状況

令和3年度末現在の入所者の要介護度の状態区分は、「表-2」の通りです。男性の平均介護度は3.72女性の平均介護度は3.83、全体の平均介護度は3.8となっております。要介護度4及び5の方は全体で60%で、昨年度と比較し4%増加となっております。

#### 要介護度の状態区分

「表-2」

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1				0%
要介護2	1	2	3	6%
要介護3	3	13	16	34%
要介護4	5	10	15	32%
要介護5	2	11	13	28%
合計	11	36	47	100%
平均要介護度	3.7	3.8	3.8 (全員平均)	

### (3) 在籍期間

令和 3 年度末現在の入居者の在籍期間は「表-3」となります。入居されて 1 年未満の方が 26%へ大幅増加、5 年以上入居されている方の全体は、昨年度の 17%から 12%に減少。全体としての平均在籍期間は、3 年 4 ヶ月となっております。最も入所が長い方は 27 年 7 ヶ月の在籍となっております。

在籍期間

「表-3」

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1 年未満	2	10	12	26%
1 年以上～2 年未満	1	8	9	19%
2 年以上～3 年未満	3	3	6	13%
3 年以上～4 年未満	2	9	11	23%
4 年以上～5 年未満	1	2	3	6%
5 年以上～10 年未満		3	3	6%
10 年以上	2	1	3	6%
合計	11	36	47	100%
一人当たりの平均在籍期間	5.4 年	2.8 年	3.4 年(全員平均)	

### (4) 入所稼働率

令和 3 年度の月別実人数、月別延日数及び入所稼働率は、「表-4」となります。令和 2 年度末の新型コロナウイルスのクラスターにより 8 名の方が亡くなり、看取りによる退所も含め、今年度の初めは空床9からのスタートとなりました。また、クラスターが尾を引いたのに加え、職員の休職や退職(コロナ・クラスターを原因としたものも含め)による人員の減少もあり、稼働率は年度を通して伸び悩み、後半になりなんとか盛り返してきた状況です。

月別延日数・入居稼働率

「表-4」

	入所者実数(月末)	入所者延日数	稼働率
4月	43	1262	84.1%
5月	45	1353	87.3%
6月	44	1330	88.6%
7月	45	1369	88.3%
8月	43	1388	89.5%
9月	43	1304	86.9%
10月	43	1355	87.4%
11月	44	1297	86.5%
12月	43	1323	85.3%
1月	45	1359	87.6%
2月	45	1252	89.4%
3月	47	1445	93.2%
平均	44.1 人	1336.4 日	87.8%

### (5) 入所稼働率の比較

令和 2 年度との実績比較は「表-5」のとおりとなります。令和 3 年度は、年度を通してクラスターによる影響から抜け切れず、稼働率は激減しています。前年度比較はマイナ

スとなりました。

入所稼働率実績の比較

「表-5」

	令和2年度	令和3年度	比較
定員数	50人	50人	変更なし
延べ人員	17,005	16,037	-968
利用率	93.07%	87.8%	-5.27%

(6)入退所の内訳

令和3年度の入退所の内訳は、「表-6」のとおりです。(4)にも記載したとおり、新型コロナウイルススクラスタ一等により、空床9からのスタートでした。表のとおり、16名の方が入所されましたが、10名の方が退所となっています。内7名は施設内での看取りでの退所、長期入院が必要と退所された1名も、入院中に亡くなりました。

「表-6」

入退所の内訳	入所実人員	入所内訳		退所実人員	退所内訳		
		老健・施設	在宅		長期入院	死亡	その他
4月	2	1	1				
5月	2		2				
6月				1	1		
7月	3	3		2		2	
8月				2		2	
9月	1	1		1		1	
10月	1		1	1		1	
11月	1	1					
12月	1	1		2		2	
1月	2		2				
2月	1	1		1		1	
3月	2	2					
合計	16	10	6	10	1	9	

2、行事、外出等の状況

- (1) 行事
- (2) レクリエーション活動の状況
- (3) 外出
- (4) 預かり金開示

(1) 行事

今年度の表示実績は「表-6」の通りです。毎月担当者が企画しております。コロナ下の中での行事という事で、全体的に縮小傾向での行事实績となっております。

令和3年度行事実施

「表-7」

	行事名	日程		行事名	日程
4月	お花見	第一週	10月	運動週間	第2週
5月	鯉幟バレー	6日	11月	秋のお茶会	21
6月	筍掘り	18日	12月	映画観賞会	14日
7月	七夕	6日 7日	1月	波岡手作り神社初詣	1月初旬
8月	スイカ割り	10日	2月	節分写真撮影会	2日
9月	敬老会	21日	3月	雛祭り写真撮影会	2日 3日

(2) レクリエーション活動の状況

今年度実施したレクリエーションは「表-8」の通りです。毎月の担当者が企画しています。利用者様が日常の中で、楽しみを見いだせる事を目的としています。又、毎月お誕生会を開催しています。ご家族をお呼びする等は出来ませんでした。ケーキを購入しお祝いしました。

○定期的なレクリエーション

「表-8」

レク名	頻度	参加者	内容
誕生会	毎月1回	誕生者	毎月誕生日を迎える方を対象に、誕生日ケーキでお祝いをしています。(SSの方も含め)
カラオケ	毎月1回	10名程	コロナ下でしたが、マスクを着用して歌われる方、聞くのが好きな方が参加。

○不定期で行なったレクリエーション

頭を使うレクリエーション:

数え歌体操 お手玉崩し 貼り絵 塗り絵等

体を使うレクリエーション:

リハビリ体操 風船バレー 風船サッカー 輪投げ 弾入れ等

その他:

DVD鑑賞 音楽鑑賞 行事の飾り作成 お茶会等



(3)外出

今年度の外出実施状況は「表-9」の通りです。コロナ状況変わらず続いている為、外出は中止しています。

「表-9」

月日	外出先	目的	利用者数
4月から3月	なし		0名

(4)預かり金の開示

令和2年度までは、入所者及びご家族様からの委任により、入所者預り金の管理を行っていましたが、令和3年4月をもって、預り金は全てご家族様に返却しております。

預かり金定期開示の状況

「表-10」

預かり金管理期間	定期開示
なし	

3、健康管理

- (1) 往診等の状況
- (2) 医療機関への通院状況
- (3) 病院別・入院状況
- (4) 事故状況

入所者様への健康管理の状況は、次の(1)から(3)の通りです。基本的には、嘱託医や歯科医の往診による診療を行い、その他に随時必要な際には、君津中央病院や萩原病院、橘川クリニック等の医療機関に受診をいたしました。夜間については看護職員がオンコール体制にて、夜勤者よりその方の状態を聞き、状態に応じて出勤し緊急対応等をいたしました。

(1) 往診等の状況

令和3年度の回診状況は、協力病院である高洲訪問クリニックの医師が、月2回来所され、回診を行っていただいております。歯科治療につきましては、大隈歯科医院より歯科医師が往診に来て下さっています。口腔ケアや虫歯の治療、義歯の作成、調整等を行っていただきました。今年度もコロナの影響により、往診回数に変更が生じています。

(2) 医療機関への通院状況(令和3年度)

令和3年度の医療機関の通院状況は、表-10の通りです。嘱託医師である高田先生の専門が内科であるため、専門外である心療内科・整形外科・眼科・等を中心に外部診療での通院を行なっております。総合診療ができる君津中央病院の割合が全体の10%、内房整形外科の割合が全体の5%を占めております。特に近年では、心療内科領域での通院が増加傾向にあります。

「表-10」

	橘川クリニック	君津中央病院	内房整形外科	萩原病院	木更津保健所	玄々堂君津病院	重城病院	東邦病院	上総記念病院	その他			合計
合計	145	20	9	6	1	5	2	3	1	4			196
割合	74%	10%	5%	3%	1%	3%	1%	2%	1%	2%			100%

## (3) 病院別・入院状況

令和3年度は、肺炎や心不全、尿路感染、腸閉塞の内科系の治療目的で君津中央病院や萩原病院、上総記念病院に8名入院されています。今年も、症状の重症化や、入院を防ぐことができるよう努めてまいります。休日及び夜間に関しては、当番医に救急搬送要請対応させていただきました。

「表-11」

入院状況	人数	延日数	割合
君津中央病院	5	44	63%
君津中央病院 大佐和分院	1	7	13%
上総記念病院	1	21	13%
萩原病院	1	1	13%
合計	8	73	100%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故件数	11	5	4	5	8	10	10	16	12	13	13	11	118

## ① 重大事故件数(事故後病院受診したもの)

3件	腫脹	頭部打撲
	施設外徘徊	

## ② 事故報告結果から

令和3年度は骨折に伴う事故はありませんでした。骨折に繋がる事故は起きませんでしたが、転倒、転落事故に関しては増加傾向にあります。センサーマット等の器具を使用するとともに、利用者様のアセスメントのケア方法を見直すことで事故再発防止に努めました。更に職員のKYT勉強会等実施し、質向上を図りました。今後も継続するとともに更なる事故防止に努めます。

#### 4、家族交流の促進

- (1) 面会者の状況
- (2) 外出・外泊の状況

##### (1) 面会者の状況

令和3年度 感染防止対策としての面会の流れ

- 4月～ 窓越し面会・オンライン面会開始
- 11月1日～30日 期間限定で対面面会を再開
- 12月～ 窓越し面会・オンライン面会
- 1月～ オンライン面会のみ限定
- 4月～ 窓越し面会再開

「表-13」の内訳としては、窓越し面会 183 名、オンライン面会 78 名、11 月の対面面会 26 名、それ以外の理由（看取りや手続き系の面談等）による直接面会が 39 名です（延べ人数）。

「表-13」

総面会者数	1日の平均面会者数
326人	0.89人

##### (2) 外泊の状況

「表-14」のとおりです。

元々、外泊を自由にできるご入所者様は昔に比べ、減っていましたが、令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの流行による外出の自粛もあり、外泊された方はいません。

「表-14」

外泊	実人員	延件数	延日数
	0人	0件	0日

##### (2) 外出の状況

元々、外出を自由にできるご入所者様は昔に比べ減っていましたが、令和3年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの流行による外出自粛の推奨をしています。ご家族様対応での受診もできる限り、控えていただいている状況です。「表-15」の内容は、ほぼ受診外出となっています。

外出

「表-15」

	延べ人数	外出先		
		自宅	市内	市外
4月	3		2	1
5月	5		4	1
6月	2		2	
7月	3		3	
8月				
9月	1			1

10月	4		3	1
11月	1		1	
12月	2		1	1
1月				
2月	2		1	1
3月				
合計	23		17	6

## 5、地域福祉活動の実施

### (1) ショートステイの利用状況

- ① ショートステイの稼働率
- ② ショートステイ介護度別人数
- ③ ショートステイ利用実績の比較

### (2) ボランティア活動の状況

### (3) 訪問の状況

### (4) 地域行事参加・交流

### (1) ショートステイの利用状況

#### ① ショートステイの稼働率

「表-16」の通りです。令和3年度は、新規利用 15 名、緊急利用 4 名、他界による利用終了 6 名、その他施設入所等による利用終了 11 名です。内、コロナクラスター後から数えると、ショートステイから長期入所へ移行された方は 6 名ほどいらっしゃいます。長い日程で利用されていた方もいるため、その分稼働率が下がっている状況もあります。

「表-16」

	利用延べ人員	利用率(9床として計算)
4月	151	55.9%
5月	141	50.5%
6月	106	39.2%
7月	107	38.3%
8月	129	46.2%
9月	157	58.1%
10月	203	72.7%
11月	204	75.6%
12月	206	73.8%
1月	188	67.3%
2月	171	67.8%
3月	194	69.5%
合計	1,957	59.6%

#### ② ショートステイ介護度別人数

毎月ごとの実人数で計算をした、令和3年度のショートステイ介護度別人数は、「表-17」の通りです。

月末の介護度で計算

「表-17」

介護度	人数	構成比
要支援1	0	0%
要支援2	2	1.1%
要介護1	32	18.1%

要介護 2	26	14.7%
要介護 3	50	28.2%
要介護 4	32	18.1%
要介護 5	35	19.8%
合計	177	100%

③ 利用実績の比較

前年度との実績比較は「表-18」の通りとなります。

ショートステイ利用実績の比較

「表-18」

	令和2年度	令和3年度	比較
定員数	9人	9人	0
延べ人員	2,338	1,957	-381
1月当たりの利用者数	194.8	163	-31.8
利用率	70.96%	59.6%	-11.36%

(2) ボランティア活動状況

新型コロナウイルスの流行により、令和2年2月以降、受け入れ自体を控えている状況です。令和3年度も変わりありません。

「表-19」

	活動者	内容	実人員	延べ回数
4月～3月	なし			
合計			0	0

(3) 訪問の状況

新型コロナウイルスの流行により、年度通して受け入れ自体を控えている状況です。

訪問

「表-20」

	団体名	人数	内容
4月～3月	なし		

(4) 地域行事参加・交流

コロナウイルスの影響により外出は難しく、また、地域行事も中止となったり地域交流ができていない状態です。

地域社会への参加

「表-21」

日程	内容	利用者参加数	場所
中止	大久保夏祭り	0名	大久保公園
中止	大久保夏祭り	0名	大久保公園
中止	波岡東地区敬老の集い	0名	波岡中学校

6、職員研修

- (1)外部研修(OJT)実績
- (2)内部研修(OffJT)実績
- (3)グループ・法人間・施設間交流実績

(1)外部研修(OJT)実績

令和3年度、外部研修の実績は「表-22」のとおりです。現場職員の人手不足や新型コロナウイルスの流行による外出自粛もあり、外部研修に参加できる機会は少ない状況でした。ただ、新しく入職した職員については、必要と思われる研修をオンライン等含め、参加しています。

「表-22」

実施時期	研修内容	主催	参加人数
2月	消防実務講習会	木更津市防災協会	3
3月	新規採用職員合同研修会(オンライン)	千葉県高齢者福祉施設協会	1
合計	2		4
備考			

(2)内部研修(OffJT)実績

今年度はコロナ状況続いている為、職員を集めての勉強会実施は避け、各委員会からケース会議内での勉強会を行いました。

「表-23」

実施時期	研修内容	主催・講師	参加人数
5月	KYT 事故防止	生活向上委員会	6人
6月	吐物処理勉強会	研修委員会/看護師	8人
7月	KYT 事故防止	生活向上委員会	6人
合計	3		20

(3)グループ・法人間・施設間交流実績

今年度のグループ、法人、施設間交流の実績は「表-24」のとおりです。新型コロナウイルスの影響で、夏祭りや敬老会などの行事が縮小となり、交流もない状況ですが、新型コロナクラスターの際には、

「表-24」

実施時期	内容	備考	参加人数
	なし		
合計			0

7、実習生の受け入れ

新型コロナウイルスの流行はあったものの、実習の受け入れに関しては、令和3年度も引き続き可能な限り受け入れています。「表-25」のとおりです。

「表-25」

月	依頼先	内容	実人員	延日数(実働)
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月	君津中央病院附属看護学校	老年看護実習 I	4	8
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計			4	8

8、職員配置状況

施設全体の令和3年度職員配置状況は、「表-26」のとおりです。

「表-26」

区分	常勤	非常勤	計(人)
施設長	1	0	1
総務	2	3	5
相談員	3	0	3
施設介護支援専門員	1	0	1
看護職員	2	4	6
介護職員	11	24	35
運転	0	1	1
清掃・洗濯等	0	8	8
主任介護支援専門員	2	0	2
居宅介護支援専門員	1	0	1
社会福祉士	3	0	3
栄養士	1	0	1
調理員	R4.1～日清に委託		
計	27	40	67

令和4年3月31日現在

## 9、資格取得状況

「表-27」

区 分	常 勤	非 常 勤	計(人)
社会福祉士	4	0	4
社会福祉主事任用資格	6	1	7
主任介護支援専門員	2	0	2
介護支援専門員	10	0	10
看護師	2	2	4
准看護師	0	3	3
介護福祉士	14	10	24
ヘルパー 1 級	0	1	1
ヘルパー 2 級	6	10	16
初任者研修	1	1	2
栄養士	1	0	1
調理師	1	1	2

令和4年3月31日現在



## 5. デイサービスセンター カメリアの園

### 【目 標】

安定した在宅生活を送っていただくために心身の維持・向上を行います  
1日平均22名の利用者様の受け入れを目指します 最低ライン20名

### 【重点目標】

- I 稼働率の向上を行います。
- II 新型コロナウイルス感染症感染防止及び拡大防止のため早急なマニュアルを作成します
- III 業務内容の見直しと変更を行います
- IV 介護職員としての資質向上を行います

### 【実践結果】

前年度末に、併設特養の新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。年度当初はその影響をともに受けてしまい、利用自粛する利用者や利用をそのまま中止する利用者がいらっしゃいました。落ち着いてからの利用再開となる方々が、実際に全員戻ってこられたのは5月でした。その中でも、利用回数を減らしての再開の方もいらっしゃいましたので完全な復帰ではありませんでした。利用率の改善が急務でした。稼働状況を上げるべく、継続していたレク活動の充実及び情報発信、居宅事業所との連携を基本に、新規利用者の受け入れに取り組みました。結果、年間新規利用者は15名の利用者の新規利用者の確保することができました。契約終了された方は、13名おりました。主な理由としては、ショートステイ及び長期入所施設への移行、ご逝去され契約終了されたことでもあります。

今年度は、まず利用者様、家族様に安心してデイサービスをご利用いただけるよう、感染症対策を実行してまいりました。各テーブルにクリアボードの設置、送迎時の検温・消毒、施設入館時の消毒、デイサービスルームへの入室毎の消毒、マスク着用の徹底などを実施しています。ご家族も、利用者も、もちろん職員もコロナを持ち込んではいけなく意識して下さったお陰で、利用者の家庭内感染が3件ほどありましたが、利用者から他の利用者へ感染することはありませんでした。しかし、次々と変異株が発生している中で完全に侵入を防止することは難しいと思います。その中で、拡大を最小限に抑え込むために、日々出来る限りの感染対策をしっかりと実施していきます。

次年度は施設の移転が控え、それにより業務内容が大きく変更することとなります。今までの有用な業務は残しつつ、全く新しいことへの取り組みも行ってまいります。新型コロナウイルスに対してもワクチン接種が進み、昨年度とは状況が変化しています。根本的な対策を実施しつつ、柔軟なサービスを提供出来るように取り組んでまいります。

#### 1. 在宅生活を送られる手段として、デイサービスを身近に感じていただけるようにします

今年度は、ボランティアの受け入れが出来ませんでした。外出の計画を徐々に行うことが出来ました。園内での小さな行事も複数回行うことで皆さんに満足していただきました。外出や行事などの時間を増やしていくことも大事ですが、今後は日常での園内での過ごし方を重点に変更していきます。カメリアの園が、困りごとの解決できる施設になれるよう、様々な症例の勉強を行い、園内での生活、自宅での生活に反映できるように取り組んでまいります。

#### 2. 利用者が安心してご自宅での生活ができるように支援します

1. 前年度から継続して、朝礼・夕礼を開催し、情報共有に努めました。十分定着しています。一方で、訪問時などを利用した個別会議が、開催できていませんでしたので、開催するように調整します。
2. 昨年度に比べ、職員一人一人の自立への意識が強まったように感じます。日頃より利用者本人がどこまで出来るのかの見極めを行うようになりました。次年度は、見極めを行うことを定着させ、その情報を職員全員で共有し、維持に目を向けリハビリに力を入れます。

3. カメリアの園での生活を有意義に過ごして頂くためにレクリエーションを充実します。
- 10月の緊急事態宣言明けから少しずつ外出を行いました。車内から観賞することから始め、外出先の人の状況なども鑑み、感染リスクを考えて車外に出るようになりました。
  - 脳トレや作業、作品作成などのプログラムを増やしました。会話を楽しむ人や脳トレを頑張る人、簡単作業が好まれる人など、個々の嗜好が確認できています。作業などは、在宅生活に直結できそうなことを検討し、生活と連動できるようにします。
4. 介護職員としての資質向上を行います。  
外部研修には、感染対策の為、参加できていません。次年度はオンライン研修を活用し参加できるよう、取り組みます。
5. 利用者の健康が維持できるよう支援します。  
コロナウイルス対策等、感染症の注意喚起情報を利用者へ手紙を配布し、ご家族含めての周知を行いました。送迎での対応や施設内での対応を都度変更し、最善を尽くすようにしております。在宅生活が基本の方々を受け入れておりますので、確実な侵入防止は望めません。そのためにも普段のご様子やご家庭内の様子を常に把握し、感染拡大防止に努めてまいります。

### 【 業務スケジュール実績 】

月	行事計画:内容	研修計画(内部)	業務計画
4月	外出: 苺狩り・花見	倫理、法令遵守、介護保険理解	
5月	母の日: プレゼント作成		
6月	父の日: プレゼント作成	事故発生等の緊急時の対応 非常災害時の対応について	
7月	七夕: 短冊作成	食中毒対策	
8月	夏祭り: デイルームにてイベントブース設置		上半期振り返り
9月	敬老会: お祝い	認知症理解・利用者主体のケア	
10月	運動会	感染症対策	業務振り返り
11月	外出: 紅葉ドライブ		
12月	クリスマス: 手作りおやつ	苦情対応	下半期振り返り
1月	お正月: 初詣	救急法	
2月	節分: 豆まき		年度末振り返り 次年度計画
3月	ひな祭り: 手作りおやつ		次年度計画周知
その他		外部研修についてはその都度開示。 入職年数に応じた研修への参加。	

実人数

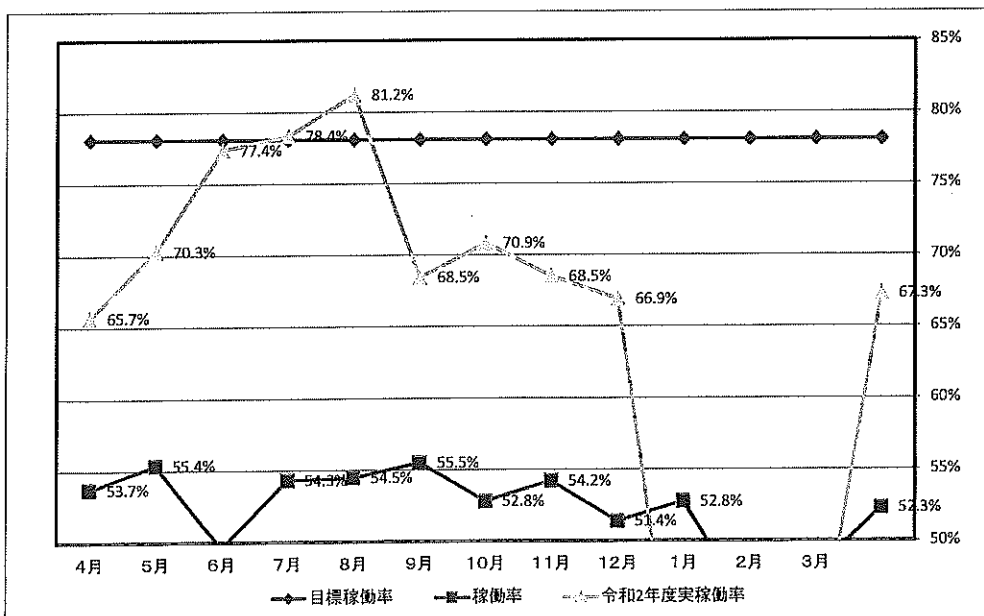
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
総合支援事業	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人						7人	1.1%
要支援1	9人	10人	9人	10人	10人	8人	8人	10人	10人	6人	7人	7人	104人	16.7%
要支援2	11人	12人	12人	13人	11人	12人	11人	12人	11人	13人	13人	13人	144人	23.2%
要介護度1	10人	10人	11人	11人	10人	11人	11人	12人	12人	12人	11人	11人	132人	21.2%
要介護度2	8人	9人	10人	10人	9人	10人	11人	10人	9人	10人	10人	9人	115人	18.5%
要介護度3	7人	7人	6人	5人	7人	6人	5人	6人	6人	6人	5人	7人	73人	11.7%
要介護度4	3人	3人	2人	3人	4人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	5人	39人	6.3%
要介護度5	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人						8人	1.3%
合計	51人	53人	52人	54人	53人	53人	51人	53人	51人	50人	49人	52人	622人	100.0%

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	前年度
稼働日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	26日	24日	24日	27日	310日	310日
総合支援事業	4人	4人	5人	4人	4人	5人	4人						30人	48人
要支援1	34人	39人	39人	36人	40人	33人	31人	35人	41人	22人	24人	30人	404人	373人
要支援2	71人	71人	72人	91人	74人	79人	78人	87人	75人	82人	79人	96人	955人	676人
要介護度1	110人	113人	106人	126人	116人	128人	123人	128人	124人	122人	104人	117人	1417人	1040人
要介護度2	75人	88人	80人	90人	89人	88人	97人	91人	82人	80人	67人	61人	988人	1127人
要介護度3	89人	87人	67人	73人	80人	78人	67人	71人	67人	57人	39人	63人	838人	1302人
要介護度4	27人	23人	11人	16人	17人	15人	11人	11人	12人	17人	14人	21人	195人	367人
要介護度5	9人	7人	7人	4人	5人	7人	1人						40人	283人
利用延人数	419	432	387	440	425	433	412	423	401	380	327	388	4,867	5675人
一日の利用人数	16.1人	16.6人	14.9人	16.3人	16.3人	16.7人	15.8人	16.3人	15.4人	15.8人	13.6人	14.4人	15.7人	
目標稼働率	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%	78.1%
実稼働率	53.7%	55.4%	49.6%	54.3%	54.5%	55.5%	52.8%	54.2%	51.4%	52.8%	45.4%	47.9%	52.3%	
差異	-24.4%	-22.7%	-28.5%	-23.8%	-23.6%	-22.6%	-25.3%	-23.9%	-26.7%	-25.3%	-32.7%	-30.2%	-25.8%	
達成率	68.8%	70.9%	63.5%	69.6%	69.8%	71.1%	67.6%	69.4%	65.8%	67.6%	58.2%	61.3%	67.0%	
令和2年度実稼働率	65.7%	70.3%	77.4%	78.4%	81.2%	68.5%	70.9%	68.5%	66.9%	35.0%	6.8%	40.4%	67.3%	

※目標稼働率は事業計画の数値。

※令和2年9月より定員変更あり



男女構成人数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	4	0	4	2	5	1	0	16
女	3	14	9	9	3	4	0	42

年齢・介護度別

年齢	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
65歳～75歳	0	0	0	2	0	2	0	4
76歳～85歳	6	3	2	2	5	1	0	19
86歳～95歳	1	10	10	5	3	2	0	31
96歳以上		1	1	2				4
合計	7	14	13	11	8	5	0	58

平均年齢

男性	83.6歳
女性	89.3歳

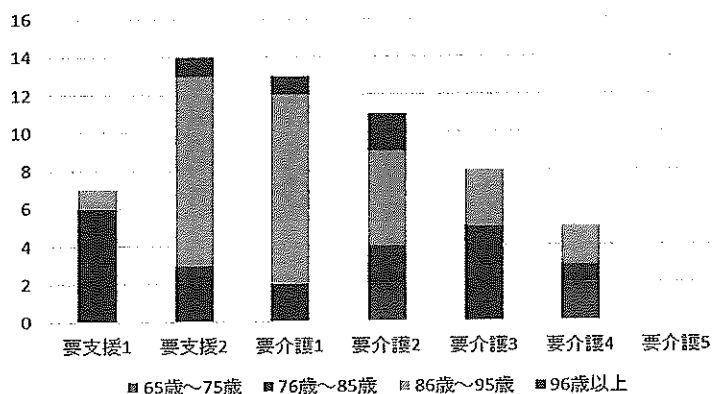
平均介護度

要支援	1.5
要介護	2.2

在住地域別

木更津市 大久保	22
木更津市 八幡台	6
木更津市 畑沢	15
木更津市 小浜	4
木更津市 畑沢南	3
木更津市 請西	0
木更津市 羽鳥野	1
木更津市 矢那	1
木更津市 烏田	1
木更津市 港南台	2
木更津市 清見台	1
君津市 南子安	1
君津市 君津台	1
合計	58

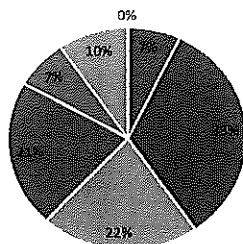
年齢・介護度別



世帯構成

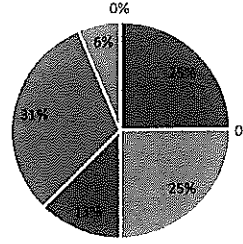
1人暮らし	18
高齢者世帯	8
息子・娘と同居	31
サ高住等	1

女性利用者割合



■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2  
■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

男性利用者割合



■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2  
■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5

## 6.看護グループ

### 【 目 標 】

利用者、職員の心身の状態を把握し健康管理を行います。また、利用者の尊厳に十分配慮しながら看取り介護を行います

### 【 重点目標 】

1. 利用者の健康管理
2. 施設内感染対策の徹底
3. 看取り介護の充実
4. 職員の健康管理

### 【 実践結果 】

昨年度のクラスター発生の経験から、未だ続くコロナウィルス対策としての対応を基本として、集団感染を発生させないように努めました。対策が功を奏したのか集団発生となることはなく、安堵しています。新規入所者の方も嘱託医及び協力病院との連携により、今年度は入院者も少なく、体調不良の早期発見、早期対応ができていたと考えます。一方で看護職員の退職に伴ない、業務負担も増える中で工夫して業務を見直しています。職員の確保をすることで、更なる医療ケアの充実やリハビリ拡充を目指してまいります。

#### 1. 利用者の健康維持と疾病の早期発見・早期対応を行います

- (1) 他職種と連携し、日々の観察を行ない、病状の重症化、入院を防ぐ点については、現場介護職員と連携し、状態の詳細把握をしました。入院者は例年と比較して延べ人数は少なく、日々の観察や早期対応が出来ていると評価します。今後も継続して体調不良の早期発見、早期対応に努めます。
- (2) 医療依存度の高いショート利用者の受入も可能な限り受け入れをいたしました。昨年度より医療依存度の高い入所者は減少しておりますが、職員体制を充実させることで、取り組めると考えます。
- (3) 数件の誤薬事故がありました。看護師が率先して、誤薬防止三確認を行なっています。薬のセット時にもダブルチェックをしているものの、介護職員が事前に発見した事例と基本的な三確認を怠っていた事例がありましたが、日々意識して誤薬防止に努めています。
- (4) 事故後の検討、事故調査委員会には、出来るだけ出席し意見を述べています。看護職員内でも会議をはじめ、日々情報共有と検討をしています。
- (5) 個別のリハビリテーションも可能な限り、実施をしました。評価については、現場介護職員と担当者とも連携し、機能維持及び向上が見込まれる方には、引き続き取り組みます。

#### 2. 感染症に対する意識を高め予防や蔓延防止します

- (1) 肺炎球菌ワクチン接種は勧めることができませんでした。インフルエンザ予防接種及びコロナワクチン接種も3回目を終了しております。コロナワクチン接種、全職員 PCR 検査実施については、初めての取り組みであり、段取りや周知の仕方に苦慮いたしましたが、だんだんと慣れて対応できるようになっていきます。昨年のクラスターを受け、感染対策を意識することで、職員家族、デイサービス利用者からの陽性者は発生したものの、集団感染には至らず、予防できたので継続して対応していきます。
- (2) 看護主体による勉強会を開催しました。冬季前に実施したことは、意識付けにもなったと考えますので、継続して勉強会の開催と看護師向けの研修にも参加をしていきたいと思っております。
- (3) 衛生委員会をはじめ、必要に応じて施設運営会議、責任者連絡会にも参加し、各部門責任者と連携し、情報共有と発信に努めました。
- (4) コロナウィルス感染症に限らず、各感染症の初動対応等を都度確認し、マニュアルの変更を行いました。状況によって、臨機応変に対応をしないといけないので、現場責任者をはじめ、主治医及び協力医療機関等と連携し対応しました。
- (5) 体調不良時の相談を受け、各現場役職者と相談し、早退や休みをすすめるように努めました。

嘱託医との連携にて必要な際には、相談、助言を受け対応しました。

3. 看取り介護を充実させます

- (1) 今年度は7名の看取りをいたしました。入所時及び体調不良時には生活相談と連携しながら、本人、家族の意向を都度確認し、嘱託医、他職種と連携し、カンファレンスを重ねながら看取りを行いました。現場介護職員の担当者をはじめ看護内でも看取りについて相談し看取りに取り組みました。
- (2) グリーフケアや職員向け振り返りについては、集まって会議までは、未実施ですが、看護 G 内や職員個別に意見を聞いたりして、振り返りをしています。

4. 職員の健康管理をサポートします

- (1) 例年の年2回の深夜業務従事者、年1回の職員健康診断の実施をしました。産業医医師に確認いただき、一部の有所見者へ医師面談をしています。引き続き、産業医と連携し早期異常の発見と受診につなげ、職員の健康管理をすすめます。
- (2) 定例のストレスチェックを実施していますが、データ分析までには至りませんでした。職員のメンタルケアの一端として、健康も含め相談、助言を行ないました。

令和3年度 年間実績 看護グループ

	健康管理	内部・外部研修等	備考
4月			
5月	深夜業務従事者健康診断実施 (健診結果の労基署へ提出)	君津中央病院 看護実習受入れ (3年生)	
6月		君津中央病院 看護実習受入れ (3年生)	
7月			
8月			
9月			敬老会
10月		君津中央病院 看護実習受入れ (1年生)	
11月	入所者、職員インフルエンザ予防 接種実施 全入居者胸部レントゲン実施 (藁丸病院) 全職員健康診断実施 (健診結果を労基に提出)	感染予防対策勉強会	
12月	ストレスチェック実施		毎朝、感染予防につ いて申し送る
1月		感染症対策会議(随時)	
2月	結核定期健康診断実施 状況報告(保健所)		
3月			

※週2回 入浴者バイタルチェック

月2回 高洲訪問クリニック医師による回診、歯科往診(大隅歯科)

月1回 看護グループ会議(リハビリ検討、ケアの統一、勉強会など)

## 7.栄養グループ

### 【目 標】

美味しく、楽しく、食事で季節を感じられる食事を作ります。

### 【重点項目】

- I キザミ食を美味しく食べられるようさらに改善をします。
- II 美味しく食べていただくための創意工夫をおこないます。
- III 食の安全への取り組みを実施します。
- IV 日常業務の効率化、最適化に取り組みます

### 【実践結果】

栄養グループにおいても、人員不足がここ数年解消されず、現職員の残業、朝、夕食の完調品、デイスポーター容器の使用等で対応していましたが、1月より日清医療食品への業務委託となりました。委託になる前も、月の暦の行事食や敬老の日のお食事などは例年より簡素化はしたものの、その時出来る精一杯のものを提供できたことは良かったと思います。改善、目新しいことに取り組む余裕はなく、現状維持が精いっぱい年度でした。

#### I キザミ食を美味しく食べていただけるよう改善します。

1. 特養介護職員と栄養双方の人員不足、新人教育で部門間の連携図れず、現状維持の状態です。
2. 研修を予定していたものの、人員不足とコロナ禍で参加することはできませんでした。

#### II 美味しく食べていただくための創意工夫を行います。

1. 暦の行事食は簡素化したものの、提供を心掛け、実施できたことは良かったと思います。
2. 人員不足により、シフトが組めない状況になった為、デイサービスのある昼に人員を確保し、それを補う為に、朝夕食は、デイスポーター容器と完調品の使用を余儀なくされました。利用者の方には本当に申し訳ない思いでした。

#### III 食の安全への取り組みを実施します。

1. 人員不足、コロナ発生時も、食中毒等を発生させることなく、提供ができました。
2. 清掃表を活用し、確認することで日々の清掃、週、月単位の清掃を行えました。人員不足で実施できない事もありましたが、朝礼等を通じて補っていきました。
3. コロナ感染対策もあり、基本となる手洗い、マスク、手袋着用等は、例年よりもこまめになったと感じます。委託業者のマニュアルも併せて、引き続き食の安全に取り組みます。
4. クラスタが発生し、想定していたものとは異なる非常事態を経験しました。現在も完全には元に戻せていない状況ですが、今後の対応策も必要だと感じました。災害想定をした炊き出し訓練は、厨房職員不参加となりましたが行うことができました。

#### IV 日常業務の効率化、最適化に取り組みます。

1. グループ会議で、毎月の報告、確認等は行えていましたが、大きな改善には至っていません。
2. 残業により人員不足を補ってきたが、いよいよ回らなくなってしまったので、完調品、デイスポーター容器の使用を取り入れた。が人員不足は解消出来なかつた為、1月より業務委託となりました。
3. 建替え移転に関する件については、食器や、厨房器具等の業者とのやり取りに参加しました。今後は施設長、委託業者と連携し、具体的な動きを想定していきます。

#### 会 議

- ・ 栄養G会議(毎月1回)
- ・ 栄養定例会議(毎月第2週月曜日)



令和3年度年間実績 栄養グループ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
暦 行事	1(木)桜御膳	5(水)子供の日 ランチ・おやつ		7(金)七夕 ランチ・おやつ		19(日) 敬老ランチ
お赤飯(1日)	木	土	火	木	日	水
その他	1(木)桜おやつ	1(土) 八十八夜 新茶	梅仕事	手作りアイス		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
暦 行事			クリスマス 24(金)ランチ・ 25(土)おやつ 31(金)年越し ソバ	お節 お雑煮 7日七草粥	3(木)節分 ランチ・おやつ	3(木)ひな ランチ・おやつ
お赤飯(1日)	金	月	水	火(4日)		月
その他	31(日) ハロウィンお やつ	21(日) 炊き出し訓練			14月 バレンタイン	14月 ホワイトデー

## 8. 総務グループ

### 【目 標】

施設の間接部門として、各部門が円滑な業務の遂行でき、働きやすい職場作りを目指します

### 【重 点 課 題】

1. 利用者が笑顔で安心して利用できるようにします。
2. 働きやすい職場づくりを目指します。
3. 地域との繋がりを大切にし、広報活動の充実をします。
4. 正確な会計処理とコストの削減をして、適正な事業運営をします。

### 【実 践 結 果】

間接部門として各部門が日々の業務に支障をきたさないようにすることを役割とし、業務を行いました。新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない中、感染対策を普段の業務とし感染対策を継続して行いました。ホームページや広報誌の充実については、大きな行事が出来ない中、レクリエーションの工夫をし、実施したことなどご利用者の笑顔や施設の様子を掲載し伝える努力をしました。職員レクリエーション・暑気払い・忘年会なども自粛のためできませんでしたが、『新春お楽しみ還元祭』を実施し好評をいただきました。今後、建替え移転における会計処理方法、移転に関わる業務を計画的に行えるように準備をし、安定した運営を目指していきたいと思えます。

1. ご利用者が笑顔で安心して利用できるようにします。
  - (1)事務所にいらっしゃるご利用者には、真摯に対応しました。
  - (2)ご利用者の送迎時には、安全に行うために付添いをしました。
  - (3)ご利用者の誕生日の把握をし、誕生日にはできるだけお祝いの言葉掛けをしました。
  - (4)毎日の食事を楽しみにしていただけるように、季節感を感じていただけるように掲示物『お献立』の工夫をしました。
  - (5)施設内の環境美化のために、ご利用者に配慮して清掃したり、花の整備をすることで過ごしやすい環境づくりを心掛けました。
2. 職員が働きやすい職場作りを目指します。
  - (1)職員が楽しめるレクリエーションの企画をして、部署間交流を誘導しました。
    - ①今年度は、『新春お楽しみ還元祭』を実施し、全員に参加していただきました。WEBルーレットを活用し、いろいろな種類のプレゼントを用意し楽しんでいただきました。
  - (2)職員不足解消の為に、求人方法の模索をして採用に繋がるように検討しましたが難しかったです。
  - (3)明るい挨拶を率先し、施設全体で取り組む『月間目標』を提案しました。
  - (4)車輛の維持管理と設備や備品の修繕には、状況報告書や職場巡視を基に業務に支障をきたさないように努めました。
3. 地域とのつながりを大切にし、広報活動の充実をします。
  - (1)地域における公益的な取組として、他部署と協働し介護者教室の取り組みを1回実施しました。
  - (2)災害時の備えと福祉避難所としての受入態勢を整えました。
    - ①年1回防災倉庫の点検を行い紙類の入替と必要物品の補充をしました。
    - ②非常食の備蓄状況の把握と入替をしました。
    - ③他部署と連携し炊き出し訓練を実施、災害時に対応できるように訓練をしました
  - (3)ホームページと広報誌の充実を目指しました。
    - ①ホームページを月3回以上更新し、広報誌を年3回発行しました。
    - ②施設内の出来事に関心を持ち、写真編集、紙面構成、文字フォント、色彩等を工夫することを更に進めていきたいです。

4. 正確な会計処理とコストの削減をして適正な事業運営に努めます。
- (1) 法令遵守をした会計処理に努め、正確な処理に努めました。
- (2) 物品購入する際には、相場把握・比較見積・値段交渉を行い適正価格と経費の節減に努めました。
- (3) 電気代の値上がりと使用料が昨年度より多くなったことにより、11月支払分以降電気代が上がり年間 20%費用が増えました。次年度も電気代の値上がりが心配な状況ですが、節電に努めたいと思います。

【 業務スケジュール 】

月	法人	施設行事	事務業務内容
4月			運転免許証等確認(業務従事者・通勤者) 退職金共済職員届提出 広報誌発行
5月	理事会 (WEBにて開催)	職員レクリエーション (中止)	運転免許証確認(業務従事者) 決算 花の植え替え
6月	評議員会 (WEBにて開催) 理事会(WEBにて開催)	介護者教室 総合防災訓練(延期)	運転免許証確認(業務従事者) 資産登記変更(千葉法務局) 処遇改善一時金支給、実績報告 電子開示システムによる現況報告書提出
7月		夏祭り(内部で開催)	運転免許証確認(業務従事者) 社会保険被保険者報酬月額算定基礎届提出 労働保険料申告書提出 処遇改善と特定処遇改善の実績報告
8月		先祖供養(中止) 暑気払い(中止)	運転免許証確認(業務従事者・通勤者)
9月	理事会(書面決議) 評議員会(書面決議)	敬老会(内部で開催) 総合防災訓練	運転免許証確認(業務従事者)
10月	理事会(書面決議) 評議員会(書面決議)	総合防災訓練	運転免許証確認(業務従事者) 広報誌発行 防災倉庫の点検、物品の入替
11月		介護者教室(中止) 炊き出し訓練 職員レクリエーション (中止)	運転免許証確認(業務従事者) 花の植え替え
12月		クリスマス 忘年会	運転免許証確認(業務従事者・通勤者) 年賀状送付 年末調整
1月			運転免許証確認(業務従事者) 広報誌発行 法定調書、支払報告書提出
2月	理事会(書面決議) 評議員会(書面決議)	節分	運転免許証確認(業務従事者) 介護職員処遇改善計画書提出 次年度事業計画作成
3月	理事会(書面決議) 評議員会(書面決議)	介護者教室(中止) 総合防災訓練 ひな祭り	運転免許証確認(業務従事者) 新年度当初予算、今年度補正予算の作成 雇用契約書作成

③\*年に2回位マンホール清掃 毎月:入居者預り金会計報告

## 9. 居宅介護相談センター波岡の家

### 【 目 標 】

コロナ禍においても安心して相談できる体制を整えていくとともに地域とより深い関係を構築するために介護保険以外の幅広い知識も習得、サービスを提供される側の気持ちを考慮したマネジメントをします。

### 【 重点 課 題 】

- I コロナ禍においても民生委員や医療機関との関係強化に重点を置き、地域包括ケアにむけた連携をします。
- II 訪問以外での利用者とのコミュニケーション方法を検討し、コロナ禍でもしっかりとケアマネジメントが行えるような体制を整えます。
- III 居宅ケアマネジャーとしての視点から施設をより良くする意見を提案します。

### 【 実 践 結 果 】

本年度はコロナ禍の中、どのように業務を遂行していくかを試行錯誤していく年となった。今まで大きなウエイトを置いていた訪問面談を電話やメール、SNSを活用するようになり、会議や研修もWEBによるものが増えている。その中でも他事業所との事例検討会を行えたことは大きな成果であった。次年度はウィズコロナを大前提に業務を行っていくとともに施設移転がスムーズに行えるように協力していく。

- I コロナ禍においても民生委員や医療機関との関係強化に重点を置き、地域包括ケアにむけた連携をします。
  1. コロナ禍ということもあり、地域の相談窓口の役目は不十分であり、包括支援センターの補助に留まっている
  2. 新規の受け入れケースは17件、そのうち60%が包括支援センター経由であった。また他事業所のケアマネより引き継ぐケースが35%もあり、他事業所からの信頼も得られてきているものの民生委員との顔の見える関係作りもほとんど行うことができなかった。
  3. 相談員のいる病院等との医療連携はスムーズにできているがクリニックや医院といったところではまだまだ不十分な面が多い。
  4. 本年度は研修および会議もWEB開催が主流となってきており、当事業所でも取り入れている。また、ケアマネジメント研究会の役員として地域の研修のWEB化に貢献している。
  5. 昨年度同様、市からの認定調査依頼はなく、介護認定の更新は自動更新がほとんどであった。
- II 訪問以外での利用者とのコミュニケーション方法を検討し、コロナ禍でもしっかりとケアマネジメントが行えるような体制を整えます。
  1. 利用者の15%が独居、30%が高齢夫婦世帯であり、利用者家族への介護以外でのサポートが必要なことも増加、複合的な支援を必要とするため、介護サービスはもちろんのこと、行政サービス(障害・生保・成年後見等)や民間サービスとの連携するケースも増えてきている。
  2. 本年度は2名体制で始まったが、2~3月は実質1名での活動となり、最終的には平均で要介護プラン25.5件/月、予防プラン9.3件/月となった。昨年度より要介護は約3名の減少、要支援は1名の増加となり、目標には達しなかった。
  3. 事業所内でのケアマネ同士の情報共有については日誌や会議を通じて概ね行っているものの書式の標準化については今後も検討が必要である。

4. 居宅会議は毎月開催、事例検討会も 1 回ではあるが他事業所と行うことができた。次年度は事例検討会の回数を増やしていく。
5. 地域の社会資源については常に情報を収集、ケアプランの中にも組み込まれてきている。本年度も地域ケア会議を活用しての問題解決の事案はなかった。
6. 各サービス事業所の特徴のデータ化までには至っていない。
7. 電話以外でも e-mail、ショートメール、場合によっては SNS なども活用、医療連携ではバイタルリンク(多職種連携情報共有システム)の活用のための勉強会にも参加している。

### III 居宅ケアマネジャーとしての視点から施設をより良くする意見を提案します。

1. 施設全体で周辺事業所の新型コロナウイルスの対応状況等の情報共有を行い、その都度、施設としての対応を検討した。
2. 本年度の介護者教室は 1 回の開催であったが、企画から講師の調整まで中心となって動くことができた。
3. 広報紙やホームページについては意見を述べることはあったが直接関わることはなかった。
4. 他事業所の見学などで感じた良いところなどは波岡の家でも参考にできるように情報を伝えることは行った。
5. デイサービス、ショートステイ、特養など他の部署への協力もできることは行った。本年度は行事等の縮小や中止が多く、その点での協力は行っていない。
6. 施設内、車両等の清掃、点検等は通常通りに行っており、地域の雪かきのお手伝いなども行った。

### ◎請求実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	7	8	7	7	9	8	8	7	8	7	2	1	79
要支援 2	12	11	13	13	12	12	12	14	14	13	5	6	137
要介護 1	23	23	25	26	26	25	24	23	20	14	10	10	249
要介護 2	16	17	15	14	14	17	19	18	17	10	10	10	177
要介護 3	7	8	7	8	7	8	7	7	9	9	8	6	91
要介護 4	6	6	6	6	7	5	6	6	6	6	5	6	71
要介護 5	1	4	4	3	3	2	2	1	1	1	1	1	24
要支援	19	19	20	20	21	20	20	21	22	20	7	7	216
要介護	53	58	57	57	57	57	58	55	53	40	34	33	612
事業対象者	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	7
小計	73	78	77	77	78	77	78	77	76	61	42	41	835
令和 2 年度	76	70	76	71	72	83	78	74	73	74	75	70	892
令和元年度	56	61	65	64	70	71	68	71	73	72	71	72	814

※ 請求実績であり、担当件数とは異なる。また、月遅れ請求も含まれる。

### ◎新規受け入れ数および相談先

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括	1	1	0	1	2	2	0	0	2	0	1	0	10
病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直接相談	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6
小計	1	5	0	1	2	2	2	1	2	0	1	0	17
令和 2 年度	4	2	1	2	3	3	1	1	1	3	2	0	22
令和元年度	3	4	3	4	2	4	2	2	1	2	5	2	34

◎利用終了者数および終了理由

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡	1	0	1	1	0	0	2	2	0	1	2	0	10
入所・入院	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	1	0	7
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	13	24	0	0	39
小計	1	0	1	3	1	0	4	4	14	25	3	0	56
令和2年度	5	2	2	1	2	0	3	3	0	3	0	3	24
令和元年度	2	4	0	0	0	1	3	0	3	2	4	1	20

◎年齢別利用者数

	男性	女性	小計
60～64	0	0	0
65～69	2	0	2
70～74	3	2	5
75～79	7	2	9
80～84	3	2	5
85～89	5	7	13
90～94	3	4	7
95～99	2	1	3
合計	25	18	43

令和4年3月31日現在

◎地域別利用者数

	男性	女性	小計
大久保	6	5	11
八幡台	10	3	13
畑沢	2	1	3
畑沢南	2	0	2
港南台	1	1	2
小浜	1	1	2
桜井	0	1	1
桜井新町	0	1	1
矢那	3	3	6
羽鳥野	0	1	1
請西	0	1	1
合計	25	18	43

令和4年3月31日現在

◎世帯状況

状況	人数
単身世帯	7
夫婦のみ	13
子と同居	8
夫婦と子の同居	6
子世帯と同居	6
その他	3
合計	43

令和4年3月31日現在

◎令和3年度 内部研修参加及び会議実績

	会議または研修名称	備考
令和3年4月13日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、災害対策について
5月11日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、令和2年度事業報告
6月15日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認
6月20日	波岡介護教室	補聴器について
7月13日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、スマホ活用について
8月20日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、スマホ利用法確認
9月14日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナ対応の見直し
10月15日	リーダー研修	管理職に必要なコミュニケーションと内務規定 その2
10月18日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・個人ケース確認
11月15日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・個人ケース確認、事例検討会について
12月14日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・個人ケース確認、今年度反省
令和4年1月13日	リーダー研修	管理職に必要なコミュニケーションと内務規定 その3
1月18日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、新型コロナ対応について
2月15日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、利用者振分について
3月15日	居宅介護支援事業所会議	前月実績・ケース確認、次年度事業計画検討

◎令和3年度 外部研修参加実績

	講習会名称	主催者	会場
令和3年 5月14日	君津木更津認知症連絡協議会	袖ヶ浦さつき台病院 認知症疾患医療センター	WEB開催
8月24日	君津圏域四市介護支援専門員合同研修会 「ケアのあり方とICT」	四市介護支援専門員協議会	WEB開催
9月30日	君津木更津地区4市ケアマネジャー連絡 協議会および君津木更津地区4市地域包 括支援センター連絡協議会	君津木更津医師会	君津木更津医師会 医師会館
10月6日	地域包括ケアの深化、推進のための多職種 連携についての研修会	木更津市在宅医療介護連携推進協議会	君津木更津医師会 医師会館
10月28日	主任ケアマネネットワーク研究会 「専門職による認知症対応について」	木更津市5地域包括支援センター	文京公民館 集会室
11月19日	木更津市ケアマネジメント研究会 「BCPの基本的な考え方」 「バイタルリンクの説明について」	木更津市ケアマネジメント研究会	金田地域交流セン ターおよび WEB開催
12月3日	君津木更津認知症連絡協議会	袖ヶ浦さつき台病院 認知症疾患医療センター	WEB開催
12月9日	事例検討会	ノバメディックスおよび 居宅介護相談センター波岡の家	ノバメディックス 会議室
令和4年 1月24日～ 2月14日	令和3年度千葉県認定調査員現任研修	木更津市介護保険課	YouTube オンデマンド配信
2月17日	木更津市ケアマネジメント研究会 「CMのバイタルリンク活用について」 「バイタルリンクを利用したカンファレンス開 催方法と情報共有について」	木更津市ケアマネジメント研究会	WEB開催
3月10日	主任ケアマネネットワーク研究会 「認知症と精神疾患の見分け方や対応の仕 方について」	木更津市5地域包括支援センター	木更津市市民総合 福祉会館 第3会議室
11月22日	専門研修過程Ⅱ	千葉県介護支援専門員協議会	YouTube オンデマンド配信
12月4日			WEB開催
1月14日～ 15日			WEB開催
2月11日～ 12日			WEB開催

## 10.木更津市南部地域包括支援センター

### 【 目 標 】

地域(波岡・鎌足地区)の高齢者が、住み慣れた地域で、安心して尊厳ある生活を続けられるように地域包括ケアを推進していきます

### 【重点課題】

1. 地域包括ケアの中核機関であることを自覚し、地域支援ネットワーク構築を行います
2. 介護予防の推進に努め、高齢者の生きがいつくりに取り組みます
3. 高齢者の消費者被害や虐待等の権利侵害について、早期発見・防止します
4. 認知症カフェを通して、認知症高齢者にやさしい地域づくりをします

### 【実践結果】

南部地域包括支援センターは、平成19年に千葉育美会「波岡の家」に委託を受け、地域の高齢者が住み慣れた地域で、安心して過ごすことができるように日々活動してまいりました。今年度は新型コロナウイルスの猛威はあるものの、感染防止対策をとりつつ、徐々に地域活動が再開することができました。また、web研修や会議での参加に慣れてきたように思います。

新たな取り組みとしては、高齢者の買い物難民を解消するために、木更津市では移動スーパーを開始しました。場所の選定や利用状況の確認など、スーパーカスミ、行政、生活支援コーディネーターと協力して参りました。現在も住民の方には好評でご利用いただいています。買い物だけではなく、住民同士が交流する場にもなりました。また、オレンジカフェが再開できないため、出前カフェを行いました。自宅に訪問することで、閉じこもり期間の安否確認が行えたこと、顔を見て話げできたことは利用者様からも好評でした。

コロナ禍でも工夫をしながら、繋がりを持っていくことが大事だと改めて感じております。

1. 地域包括ケアの中核機関であることを自覚し、地域支援ネットワークの構築を図ります。
  - ①地域の身近な相談窓口として高齢者に関する様々な相談をすべて受け止め、適切なサービスや、関係機関及び制度の利用につなげるなど、問題の解決への支援を行ってきました。今年度は各公民館での出張相談を再開し、介護相談やキーホルダーの登録手続きなどを行うことができました。
  - ② 地区民生委員協議会に毎月出席し、地域で起きた事例の紹介や見守りをしているケースの情報収集、共有を行いました。定例会の後に、各地区にて2回/年地域ケア会議を予定しておりましたが、まん延防止措置の為に中止としました。鎌足地区においては、民生委員研修も開催がないことで、包括が講師になり、介護保険制度についてなど勉強会を行いました。
  - ③ 木更津市社会福祉協議会、木更津警察署、健康福祉センター、消費者生活センター、医療機関など関係機関や団体と連携し、問題解決に取り組みました。
  - ④ ケアマネジャーの後方支援としては、困難事例、権利擁護などの相談に対し解決に向けて支援しました。今年度はWebでの研修開催が多く参加者同士の交流、情報交換などは十分ではありませんでしたが、困難事例について個別の地域ケア会議を1回開催しました。また、ケアマネジャーが日頃抱えている課題の解決に少しでも役に立つように、と「木更津市主任ケアマネネットワーク」にて勉強会を3回/年開催しました。木更津市社会資源一覧を更新し居宅支援事業所等に配布しました。※年間相談件数延べ 279 件
  - ⑤ 地域との連携においては、まちづくり協議会や地域を考える会に委員として参加し、波岡東地区において、社会資源マップ「地域のみりよくブック」の作成に関わり、65歳以上の方に配布できました。
  - ⑥ 在宅医療・介護連携協議会や各部会へ参加し、医療関係者と介護関係者との連携を深めました。



2. 介護予防の推進に努め、高齢者の生きがいつくりに取り組みます。
  - ① 要支援1・2の方を対象とした介護予防支援業務については、要支援認定者の介護予防プランの作成を行いました。センターでは年間1,229件のプラン作成、居宅支援事業所へは1,791件を委託しました。委託先の担当者会議は書面開催も多くありましたが、その都度、適切なプランの作成についての助言なども行いました。
  - ② 今年度も、感染防止のため通所型C事業の開催ができませんでした。一般高齢者への介護予防支援事業については、「きさらづ筋力アップ体操」の6団体が感染対策を取りながら活動を継続しています。月1回は主に看護師が参加し、状況の確認をしました。年1回の体力測定、PTによる指導なども行いました。
  - ③ 中止となっているサロンや集いの場は多いものの、再開した公民館主催の高齢者教室や老人会において、健康相談、健康講和、体操等を実施し、高齢者の介護予防の推進に努めました。
3. 高齢者の消費者被害や虐待等の権利侵害について、早期発見・未然に防止します。
  - ① 今年度は本人からの消費者被害についての情報提供が3件ありました。未遂で解決したケースや、実際に被害に遭ってしまったケースもあります。認知症がないにもかかわらず、巧妙な手口に騙されてしまった事例でした。速やかに地区の民生委員さんにも情報共有し、注意喚起をお願いしました。
  - ② 成年後見制度・日常生活自立支援事業利用等の情報提供、活用について紹介を行いました。相談については3件あり、内容としては、認知症で金銭管理ができない方は、近所の方が通帳を管理していたため、日常生活自立支援事業に繋げました。また、子供に精神疾患があるため、将来的に不安があるケースも成年後見センターと共に動きました。今後も身寄りがいない方、認知症高齢者が増えてくることから、制度の必要性を周知していく必要があります。子どもがいても障害があり、頼ることができないケースも増えているように感じます。
  - ③ 虐待防止の相談・通報受付・実態把握については、家族やケアマネジャー、関係機関等からの虐待(疑いを含む)相談が12件あり、受付・実態把握を行いました。関係機関と連携しながら支援し、速やかに分離をした事例は3件でした。介護者自身が認知症になり、手を挙げてしまうケースもあり、今後老老介護、認認介護が増加する中で虐待に至ってしまうケースも増えていくのではないかと考えます。また、介護サービスの見直しや分離が必要であるが、本人の強い拒否と、養護者以外の家族からの同意が得られず、関係者の見守りが続いているケースもあります。
  - ④ 4包括の社会福祉士が介護サービス事業所と居宅支援事業所を対象とした虐待についての研修を1回/年実施しました。また、千葉県主催の虐待対応専門職研修に参加し、専門職としての質の向上に努めました。
  - ⑤ コロナ禍でもあり、地域住民向けの講習やイベントなどは開催できませんでした。
4. 認知症カフェを通して、認知症高齢者にやさしい地域づくりをします。
  - ① 認知症サポーター養成講座の開催はコロナ禍であり住民向けに1回、法人内部で3回の開催でした。住民から開催の要望があり、少人数での講座を実施しました。
  - ② 認知症についての住民への周知としては、認知症メモリーウォーク、認知症カフェフェスティバルを合同で開催し、木更津市民体育館の周辺を歩くことで、子どもから大人まで幅広い世代へのPRとなりました。波岡公民館での認知症カフェについては、公民館の工事による使用禁止期間もあり、中止していました。しかし、長期間顔を合わせることがないと心配になり、スタッフが自宅に訪問する「出前カフェ」を実施しました。短時間ですが、直接顔を合わせての安否確認ができ、また話をすることで参加者も安心できたようです。3月になって1年4か月ぶりに公民館で開催することができました。飲食はまだできませんが、やはり顔を合わせて話をする事の大事さを実感しました。
  - ③ 認知症地域支援推進員の活動としては、キャラバンメイトフォローアップ研修、認知症サポーターフォローアップ研修、認知症家族交流会を開催しました。認知症高齢者の家族交流会は恒例となりました認知症専門医を迎えての交流会、また認知症対応型デイやグループホームの職員を招いての交流会も好評でした。

- ④ 認知症初期集中支援チームについては、新規ケースとして対象となるケースは少ないもののある程度時間が経って、再度動きが出てきている事例や、精神疾患との違いに悩む事例についての相談ができ、助言・アドバイスを頂きました。ZOOMを活用しオンライン会議の開催でした。

5. その他

- ① 職員の地域包括支援センター業務に必要な知識、技術の習得に努めました。参集型の研修は殆どなく、オンライン研修での開催が増えました。(別紙2参照)
- ② 高齢者見守りキーホルダー事業については、新規の方はもちろん、更新の方についても引き続き老人会や出張相談などで受け付けを行いました。感染防止のため電話での更新も行いました。3月末での登録者数 名です。
- ③ 法人のホームページや広報紙の「南部だより」を年2回発行し、日々の活動報告をしています。
- ④ 公民館からの要望に合わせた、講演会を行いました。今年もサロンや地域フォーラムの開催が中止となりましたが、老人会でのミニ講座的な情報提供を行いました。(別紙3参照)
- ⑤ 毎月の木更津市地域包括支援センター連絡会や管理職会議において、市関係職員との連携に努めました。
- ⑥ 看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域推進員の専門職会議を定期的に行い、情報交換や事例検討などを行いました。

1. 相 談

○相談件数 (単位:延件数)

①来所	99	
②電話	682	
③訪問	253	
④その他	60	実件数
合 計	1096	763

○内容、相談者別件数 (単位:延べ件数)

内容 相談者	①介護方法、又は生活相談(全般)	②介護保険制度利用援助	③福祉用具・住宅改修	④福祉サービス(全般)	⑤介護予防に関する事	⑥虐待関係(疑含む)	⑦成年後見制度利用支援	⑧消費者被害	⑨介護予防ケアマネジメント	⑩その他	合 計
本人	22	71	21	11	2	3	0	3	0	206	339
家族	81	230	35	11	2	2	2	0	7	146	516
介護支援専門員	6	17	2	1	0	17	0	0	125	111	279
介護サービス事業所職員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

民生委員	7	6	0	1	0	0	0	0	0	36	50
近隣・知人	3	15	0	0	0	0	0	0	0	41	59
関係機関	14	29	4	1	0	6	1	1	0	83	139
その他(匿名を含む)*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合 計	133	369	62	25	4	28	3	4	132	625	1385

## 2. 権利擁護業務

○内容、件数

種 別		新 規		継 続	
①虐待(疑含む)	身体的虐待	4	(虐待合計) 6	6	(虐待合計) 6
	経済的虐待	0		0	
	精神的虐待	1		0	
	性的虐待	0		0	
	介護放棄	1		0	
①成年後見制度利用			1		1
② 消費者被害			4		0
③ 困難事例			30		35
④ その他			1		0
合 計			42		42

## 3 会議、研修会の開催、又は参加、及びPR活動等について

《会議》

- ・民生委員定例会:波岡東(12回)波岡西(12回)鎌足(12回)
- ・木更津市地域包括連絡会(8回)・管理職会議(12回)・木更津市地域包括運営協議会(2回)・
- ・在宅医療介護連携協議会(2回)・在宅医療介護・認知症施策部会会議(4回)・生活支援部会(4回)
- ・ICT部会会議(4回)
- ・初期集中支援チーム員会議(24回)
- ・自立支援に資する個別地域ケア会議(3回)・君津圏域認知症協議会 zoom(1回)
- ・鎌足足プラン作成WG会議(3回)・わかば会会員会議(1回)
- ・波岡東地区地域を考える会、部会長会議(5回)・波岡公民館地区まちづくり協議会(3回)
- ・千葉県ケアマネ協議会調査研究委員会 Zoom 会議(2回)
- ・地域包括専門職会議:社会福祉士会議(12回)、看護職(12回)主任 CM 会議(12回)推進員会議(12回)
- ・地域ケア会議(2回)・大久保自主防災会議(1回)・居宅事業所との事例検討会(1回)
- ・予防委託分担当会議参加:63回・困難事例カンファレンスへの参加 13回

《その他》

## 4 介護予防支援業務(予防給付関係)

○介護予防ケアマネジメント事業

	新 規		継 続		合 計
直接ケアプラン作成件数	要支援1	22	要支援1	672	694
	要支援2	12	要支援2	515	527
	チェックリスト	0	チェックリスト	8	8
委託ケアプラン作成件数	要支援1	25	要支援1	753	778
	要支援2	26	要支援2	942	968
	チェックリスト	3	チェックリスト	42	45
合 計		88		2932	3020

## 5 訪問状況

(単位:延回数)

実態把握訪問調査回数	新規	継続	合計
	564	1772	2336

○当月契約居宅事業所(新規)報告 ※新規契約した事業所がない場合、記載不要

契約日	事業所法人名称	法人所在地	事業所名	事業所所在地
R3.6.1	株式会社ツクイ	神奈川県横浜市港区 上大岡西 1-6-1	ツクイ川崎中島	神奈川県川崎市川崎区 中島 3-7-3 落合店舗 1F
R4.2.1	株式会社アビタシ オン	福岡県福岡市博多区 住吉 3-14-11 アビタシ オンビル	アビタシオン君津	君津市八重原 1338-1
R4.3.1	社会福祉法人梅香 会	木更津市矢那 3731-2	居宅介護支援事業所 いわね潮の香園	木更津市万石 146-1

## 別紙1 令和3年度認知症サポーター養成研修 実績

回数	実施日	受講団体・グループ名	受講者数
1	令和3年12月14日	波岡の家職員	5
2	令和3年12月16日	波岡の家職員	10
3	令和4年1月18日	波岡の家職員	6
	令和4年2月17日	地域住民	4
令和3年度 終了者数			25

## 別紙2 令和3年度 研修参加実績

回数	日時	研修内容 39	場所	参加者
1	令和3年5月30日	認知症オンラインセミナー		小川・東間
2	令和3年6月14日	管理職・リーダーの役割とコンフリクション、マネージメント	波岡の家	平野・東間
3	令和3年6月16日	地域包括ケア時代の在宅医療・多職種連携 webセミナー		東間
4	令和3年7月15日	主任ケアマネネットワーク勉強会	中央公民館	東間
5	令和3年7月16日	君津地域リハビリテーション広域支援センター 認知症勉強会 web		東間
6	令和3年8月23日	包括看護師勉強会	朝日庁舎	小川
7	令和3年9月15日	高齢者権利擁護に関する勉強会	金田交流センター	平野・瀬在・嶋崎
8	令和3年9月19日	心の看かたオンライン研修		小川
9	令和3年9月30日	君津木更津地区4市ケアマネジャー連絡協議会 zoom		平野・東間
10	令和3年10月6日	多職種連携研修会 zoom		平野・東間
11	令和3年10月15日	中間管理職研修会	波岡の家	東間
12	令和3年10月28日	主任ケアマネネットワーク勉強会	文京公民館	東間
13	令和3年10月25、 29、11月5、16、22、	主任ケアマネ更新研修	千葉県経営者会館	東間

	30日			
14	令和3年11月9日	介護予防・日常生活支援総合事業にかかる市町村研修会	千葉県教育会館	嶋崎
15	令和3年11月19日	木更津市ケアマネ研究会	金田交流センター	平野・東間
16	令和3年11月19日	若年性認知症に関する研修 zoom		小川・嶋崎
17	令和4年1月18, 19日	認知症地域支援推進員初任者研修 zoom		嶋崎
18	令和4年1月20日	ICT バイタルリンクの使用方法について zoom		平野・東間
19	令和4年2月17日	高齢者虐待対応専門研修 zoom		平野
20	令和4年2月17日	木更津市ケアマネ研究会 zoom		平野・小川・東間
21	令和4年2月26日	認知症疾患医療センター研修会 zoom		小川・東間
22	令和4年3月10日	主任ケアマネネットワーク勉強会	社会福祉会館	東間
23	令和4年3月11日	千葉県認知症ウーディネーター・地域支援推進員活動報告会 zoom		嶋崎
24	令和4年3月14日	チームオレンジ報告会 zoom		嶋崎

別紙 3

令和3年度 地域活動

活動名	会場	活動内容	開催日	包括で対応した 実人数/年間 延べ人数
オレンジカフェ	波岡公民館	認知症の本人・家族、地域住民や関係者の集い	毎月第4火曜日 13:00~15:00 (包括 毎回)	14名/74名
鎌足さくら体操	鎌足公民館	きさらづ筋力アップ体操 体力測定	毎週火 (包括 12回/年)	20名/240名
ドリーム八幡台	八幡台公民館	きさらづ筋力アップ体操 体力測定	毎週金 (包括 12回/年)	7名/84名
さわやか体操	八幡台公民館	きさらづ筋力アップ体操 体力測定	毎週土 (包括 12回/年)	12名/132名
大久保きらきら体操	波岡公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 体力測定	毎週水 (包括 12回/年)	16名/16名
畑沢わいわい体操	畑沢公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 口腔体操 認知症予防体操 体力測定	毎週火 (包括 12回/年)	35名/420名
畑沢うきうき体操	畑沢公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 口腔体操 認知症予防体操 体力測定	毎週金 (包括 12回/年)	8名/56名
八幡台イケイケ体操	八幡台公民館	きさらづ筋力アップ体操 セラバンド体操 口腔体操 認知症予防体操 体力測定	毎週水 (包括 12回/年)	25名/225名
さつき会ふれあいサロン	畑沢公民館	健康相談 血圧測定 健康講話 体操	年3回 (包括 3回/年)	中止
波岡ふるさとの会	波岡公民館	健康体操 健康・介護相談 救護	年2回 (包括 2回/年)	中止
わかば会茶話会	八幡台公民館	健康相談 血圧測定 健康講話	年10回 (包括 10回/年)	29名/57名
わかば会ふれあいサロン	八幡台公民館	健康相談 血圧測定 健康講話	年1回 (包括 1回/年)	中止
白寿会	八幡台公民館	きさポン体操 キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	39名/299名
小浜長寿会	小浜集会所	健康体操 健康・介護相談	年12回 (包括 9回/年)	25名/168名
八幡台自主防災会	八幡台小学校	車いす、視覚障害者の介助方法	年1回 (包括 1回/年)	中止
波岡西敬老の集い	畑沢中学校	救護 健康体操	年1回 (包括 1回/年)	中止
鎌足敬老の集い	鎌足小学校	きさポン体操 キーホルダー受付	年1回 (包括 1回/年)	中止
菜の花学級	波岡公民館	リハビリ棒で健康体操	年11回 (包括 1回/年)	12名
かえで学級	八幡台公民館	健康体操	年11回 (包括 1回/年)	8名

畑沢第1区会ふれあいサロン	畑沢公民館	体操、講和	年1回 (包括 1回/年)	中止
波岡東地区バスハイク		救護	年2回 (包括 2回/年)	中止
鎌足出張相談	鎌足公民館	健康・介護相談・キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	19名/19名
畑沢出張相談	畑沢公民館	健康・介護相談・キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	104名/104名
八幡台出張相談	八幡台公民館・移動販売	健康・介護相談・キーホルダー受付	年12回 (包括 12回/年)	19名/19名
鎌足民児協	鎌足公民館	民生委員の関わった相談内容の報告	毎月第2火曜 (包括 12回/年)	8名/88名
波岡東民児協	波岡公民館	民生委員の関わった相談内容の報告	毎月第1土曜 (包括 12回/年)	25名/300名
波岡西民児協	畑沢公民館	民生委員の関わった相談内容の報告	毎月第1土曜 (包括 12回/年)	21名/252名
包括で対応した人数の合計				438名 /2550名

### 令和3年度介護予防講演会

No	日付	参加人数	場所	サークル名等	内容
1	7月30日	18名	畑沢公民館	健康カレッジ	フレイル予防
	11月26日	18名	畑沢公民館	健康カレッジ	介護保険と施設について
	1月28日	16名	畑沢公民館	さつき会勉強会	フレイル予防
	1月12日	8名	鎌足公民館	鎌足民児協	介護保険制度について
	3月8日	8名	鎌足公民館	鎌足民児協	介護保険施設とその他の施設

社会福祉法人 千葉育美会

花の里

令和3年度 事業報告書



特別養護老人ホーム	花の里
花の里短期入所生活介護事業所	花の里
デイサービスセンター	花の里
居宅介護相談センター	花の里
在宅介護支援センター	花の里

## 目 次

令和3年度事業概要	…	50
1. 理念と基本方針	…	51
2. 組織図	…	52
3. 特別養護老人ホーム	…	53
4. 介護(予防)短期入所生活介護事業所	…	54
<b>【実績 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所】</b>	…	55
1.入居者状況	…	55
2.行事・外出等の状況	…	57
3.健康管理	…	59
4.家族交流の状況	…	61
5.ショートステイの利用状況	…	62
6.職員研修	…	63
7.実習生受入	…	64
8.職員状況	…	64
5. 通所介護(通所介護型サービス)部門	…	66
6. 看護部門	…	70
7. 栄養部門	…	72
8. 総務部門	…	73
9. 居宅介護支援事業所部門	…	74
10. 在宅介護支援事業部門	…	75



## 令和3年度事業概要

令和3年度は、新型コロナウイルス対策をとりつつ安全にサービスを提供し、なおかつ各事業ともより多くの方にご利用いただけるよう試行錯誤した一年となりました。新型コロナウイルスに関しては、3回目のワクチン接種がすすみ治療薬も出始め対策がすすめられています。第6波の後の感染者数は高止まりの様子がみられ、今後も変異ウイルスや第7波の影響が心配されるところです。いずれにしても、高齢者にとって感染はリスクの高いものであることは変わらず、令和3年度も様々な対策をとってまいりました。しかし、デイサービスなどでは、ご本人様や同居されているご家族の体調不良時に一定期間お休みいただく必要があったり、感染拡大期間中の利用控え等もあり、例年に比べご利用者の数が少なくなる傾向がみられました。もちろん感染防止対策は最優先事項ですが、その状況においても、これまで通り多くの方々にご利用いただくには何が必要か、何が不足しているのかをスタッフと一緒に考え試行錯誤してまいりました。その中で今年度実施した取り組みが、夕食弁当と買い物代行でした。いずれも地域の高齢者や当施設のご利用者またはそのご家族の声をヒントに始めたものでした。いずれもご好評いただき、来年度も引き続き実施していく予定としています。また、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で実施に至りませんでした。毎年派遣される亀田総合病院からの地域リハビリ支援事業による理学療法士や作業療法士に協力いただき、今後はそれぞれの家庭環境に応じた機能訓練にも力を入れていく予定です。現段階では結果に結びついていないものの、ご利用者や地域の皆様の声を聴きそれに応えられるサービス提供を目標とすることで地域に必要とされるデイサービスを目指してまいります。

特養養護老人ホームでは、今年1年での入所者が21名、退所者が23名となりました。ここ数年では入退所の数が飛びぬけて多い年となりました。入居される方の重度化や高齢化が影響しているものと考えられ、在籍期間も短くなってきています。退所者23名のうち20名の方を施設で看取らせていただきました。コロナ禍で面会はとて難しい状況もありますが、看取り期の方についてはなるべくお会いいただけるよう取り組み、ご利用者にとってもご家族にとっても納得のいく看取りとなるよう心掛けてまいりました。今後も入退所の多い傾向は続くことが予想されますが、ご本人はもちろん、ご家族とも密にコミュニケーションをとり、コロナ禍でも入居される皆様やそのご家族が安心してお過ごしいただけるよう取り組んで参ります。

人材確保に関しては、ここ数年厳しい状況が続いており、介護職員だけでなく、看護職員やケアマネジャーについても募集をかけてもほとんど応募が無い状況がみられています。今年度はハローワーク等の通常の募集に加え、複数の求人サイトへの掲載や移住者向けの動画ライブ配信への参加などにも取り組んでまいりましたが、問い合わせや見学は多少増えたものの、なかなか採用には至らない厳しい状況が続きました。年度末になり介護職員3名を採用させていただくことができましたが、うち2名は職員紹介によるものでした。看護職員やケアマネジャー等の専門職についてはほとんど反応が無い状況が続いています。今後も厳しい状況が予測されますが、働きやすい職場環境作りや事業活動を通じて人材確保につなげていけるよう努めてまいります。

施設設備につきましては、今年度、温水ヒーターのメンテナンスと個浴槽の入れ替えメンテナンス、給湯配管のメンテナンスを行いました。施設も24年が経過し、ところどころ修繕が必要となっていますが、優先順位を考慮し、ご利用者の皆様に安全に快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

施設長 木田 健一

## 1. 理念と基本方針

### 【 法人理念 】

『 利用者の尊厳を守り、その人らしく  
笑顔で生活できることを支援します 』

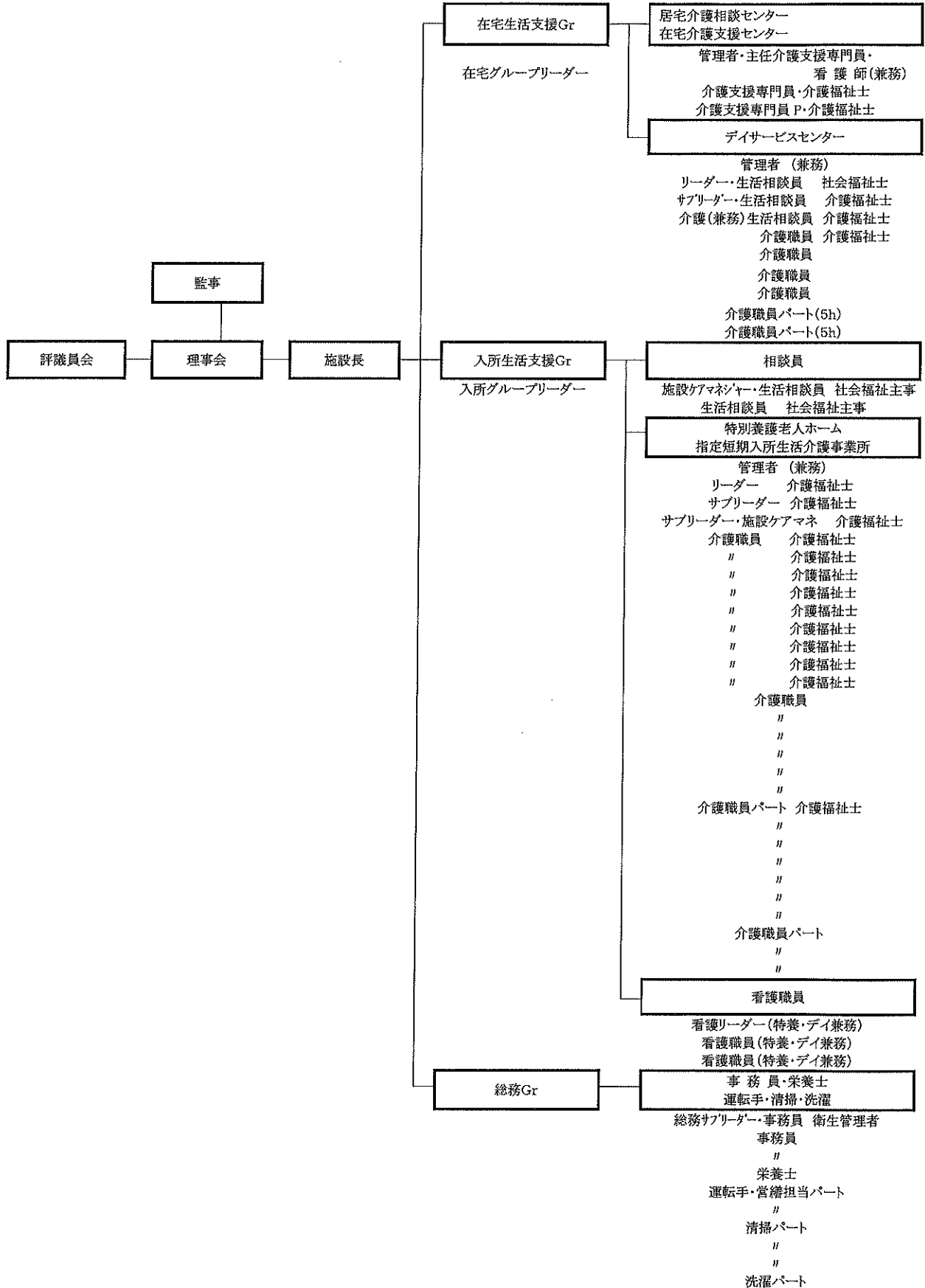
### 【 基本方針 】

- 利用者が居心地良く過ごせる場所であるよう、利用者目線でのケアを心がけます。
- 本人・家族の思いや生活習慣を大切にした支援を心がけます。
- 地域を中心として、本人・家族が身近で安心して相談できる相談窓口であることを心がけます。
- 他職種と連携し、施設全体で利用者・家族・地域への貢献に努めます。
- グループ間交流の活用や、職員教育の充実を図り、職員の資質・知識・技術の向上に取り組みます。

## 2. 組織図

社会福祉法人 千葉育美会 花の里

令和4年3月31日 改訂



### 3. 特別養護老人ホーム

#### 【 目 標 】

- その人らしく、居心地良く過ごせる場所であるよう利用者目線でのケアを提供します。
- 稼働率97%を目標とします。

#### 【 重点課題 】

1. 利用者・家族のニーズと「その人らしさ」を大切にしたケアを提供します。
2. 各係の活動をより充実させ、その情報を活用し個別ケアを推進します。
3. 新人教育をはじめ、より効果的な職員教育を行うことで、利用者目線でのケアを提供できる職員の質を確保します。
4. 退所から入所までの空床期間を短縮し、稼働率目標を達成します。
5. 感染症について予防とまん延防止に努めます。

#### 【 実践結果 】

1. 利用者・家族のニーズに加え、性格・習慣・生活歴等に注目することで「その人らしさ」を反映したケアプランを作成し、プラン内容を確実に実施出来るよう努めました。

今年度も新型コロナウイルスの影響で、面会が出来ない状況が続きました。利用者、家族とも不安や心配の日々であったと思われまます。このような状況であったからこそ、普段以上に日頃の様子の共有や変化があった際の早めの連絡を意識し、少しでも家族の心配を軽減できるよう努めました。特に看取り期の方については、家族との連絡を密にし、面会に関しても、感染対策をとりつつ、出来る限りお会いいただけるよう取り組み、利用者・家族のニーズに沿った看取りとなるよう努めました。

今年度は21の方が新規に特養入所されました。ここ数年は入退所の件数が多くなっている傾向があります。その分新しく入所された方々のケアプランについての周知が不足している場面もありました。「その人らしさ」を大切にするケアを提供するにはケアプランの周知は重要になるので、作成・周知を徹底してまいります。

2. 各係が専門的な視点で個々のご利用者の現状をとらえ、その情報を元に適したケアを提供できるよう取り組みました。

今年度末より係の会議の開催日数を月1回から2月に1回程度としています。1月の会議数が多くなってしまったことと、コロナの関係もあり、少しでも密を減らすことと業務負担の軽減も考えてのことです。これを受けて会議中心の活動ではなく、日々の活動を中心とする体制作りに取り組み、排泄・食事・入浴・リハビリ・レク等についてそれぞれの係員が自覚をもち、日々変化のある利用者の状況に合わせた提案がリアルタイムにできるようレベルアップを図れるよう取り組みます。

3. 業務改善を通し、職員のスキルアップを図りました。

今年度も勉強会やアンケートなどを活用し、今ある業務の課題についてをとりあげ、業務改善に取り組みました。その中で、様々なレベルにある職員が問題意識を持ち、課題を共有し、解決に向け取り組むことで職員全体のレベルアップを図りました。業務改善やシフト・体制について今後も改善を目指し取り組むことで質の向上と職場環境がより良くなることを目指します。

4. 次期入所予定者への準備を早めに行うことで、空床期間の短縮に努めました。

今年度は入退所数が非常に多い年となりましたが、早めの準備を意識して対応した結果、空床期間を少なくすることができました。引き続き空床期間の短縮に取り組みます。

## 4. 介護(予防)短期入所生活介護

### 【 目 標 】

- 利用者や家族・介護者の要望に沿ったサービスを提供を継続的に行うことで、在宅介護支援及び地域貢献に取り組みます。
- 稼働率85%を目標とします。

### 【 重点課題 】

1. 住み慣れた地域やご自宅で長く生活ができるよう、在宅生活を意識したサービス提供に努めます。
2. 在宅生活の状況について現場職員としっかり情報共有し、それぞれのニーズに沿ったケアが提供できるよう努めます。
3. 感染症予防とまん延防止に取り組みます。
4. 災害時避難者や緊急ショートステイの受け入れ施設としての機能を果たします。

### 【 実践結果 】

1. 住み慣れた地域やご自宅で長く生活ができるよう、在宅生活を意識したサービス提供に努めました。  
今年度も新型コロナウイルス対応の為、入居されている方とショートステイご利用者のスペースを完全に分ける対応をとらせていただきました。それにより、これまでの利用環境とは異なる対応も多くなり、ご利用者の皆様にご不便をお掛けしてしまいました。その中でも居室環境はできるだけ在宅の環境と同じような環境となるように対応し在宅生活を意識したサービス提供に努めました。新型コロナウイルスの影響は大きく、これまでは食堂で他利用者様と楽しくお過ごしいただくことでショートステイ期間を活動的に過ごしていただき、機能低下防止等に努めていましたが、実際はそれぞれのお部屋でお過ごしいただく時間が増え利用中の活動量は明らかに低下してしまっているのが現状です。今後も、密を避け感染を予防しつつ活動的に過ごしいただく方法を模索し、サービスの質の改善に向け取り組んでまいります。
2. 現場の介護職員が介護者(家族)の声や自宅環境を知ること、より在宅を意識したケアにつながるよう取り組みました。  
ショートステイ係のミーティングの際に相談員から介護職員へ介護者(家族)の思いや置かれている環境、雰囲気等、可能な限りで情報提供し、在宅へつながるサービス提供を意識して取り組みました。在宅生活を踏まえた介護の質向上への取り組みに関しては、新型コロナウイルスの影響もあり、予定していた研修や勉強会、係のミーティング等も開けない状況であった為実施できませんでした。今後はWEB研修なども取り入れ対応してまいります。
3. ご利用前のご本人・同居ご家族の体調確認や利用中の検温等にご協力いただき感染症予防に取り組みました。  
ショートステイのご利用に際しても、検温やご家族も含めた体調確認、発熱時のPCR検査等、様々な感染防止対策にご協力をいただきました。無症状感染者が多く報告され、高齢者は重症化のリスクが非常に高いことから、より慎重に対応させていただきました。今後しばらくこの状況は続くものと思われます。今後も皆様にご協力をいただきながら、感染対策を徹底し、このような状況の中でもご利用者それぞれの在宅生活を踏まえた支援ができるよう努めてまいります。
4. 緊急時の受け入れ等ケースに合わせた臨機応変な対応ができるよう取り組みました。  
今年度は、緊急ショートステイの要請はありませんでしたが、平時より準備し、いつでも対応できるよう準備してまいります。

## 実績(特別養護老人ホーム・短期入所生活介護)

### 1. 入居者の状況

- (1) 年齢・性別状況
- (2) 要介護度の状態区分
- (3) 在籍期間
- (4) 月別延人数・入居稼働率
- (5) 入退所者の状況

#### (1) 年齢・性別の状況

令和3年度末時点での、入居者の年齢・性別状況は「表-1」の通りです。90歳以上の方が全体の58%を占めている状況となっています。男性の平均年齢は84.1歳、女性の平均年齢は91.5歳となっています。全体の平均年齢は91.63歳となっています。

年齢・性別の状況

「表-1」

年齢	男性	女性	合計	構成比
60歳未満				
60歳～64歳				
65歳～69歳				
70歳～74歳		1	1	2%
75歳～79歳		1	1	2%
80歳～84歳	4	1	5	9%
85歳～89歳	2	14	16	29%
90歳～94歳	1	17	18	33%
95歳～99歳		9	9	16%
100歳以上		5	5	9%
合計	7	48	55	100%
平均年齢	84.1	91.5	91.63	

#### (2) 要介護度の状況

令和3年度末時点の入所者の要介護度の状態区分は、「表-2」の通りです。要介護度3及び4の方が全体の82.1%を占めています。平均要介護度は3.56となっています。

要介護度の状態区分

「表-2」

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	1	1	1.8%
要介護2	1	0	1	1.8%
要介護3	3	25	28	50.0%
要介護4	3	15	18	32.1%
要介護5	0	8	8	14.3%
合計	7	49	56	100%
平均要介護度	3.29	3.59	3.56	

(3)在籍期間

令和 3 年度末時点での入居者の在籍期間は「表-3」となります。5 年以上入所されている方は全体の 22%となっています。また、入所されて 2 年未満の方は 49%となっております。全体としての平均在籍期間は約 3 年 3 ヶ月となっており、最も入所が長い方は 23 年と 9 ヶ月の在籍となっております。

在籍期間

「表-3」

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1 年未満	3	17	19	35%
1 年以上～2 年未満	2	6	8	14%
2 年以上～3 年未満	0	8	8	14%
3 年以上～4 年未満	2	4	6	11%
4 年以上～5 年未満	0	2	2	4%
5 年以上～10 年未満	1	8	9	16%
10 年以上	0	3	3	6%
合計	7	48	55	100%
一人当たりの 平均在籍期間	約 2 年 5 ヶ月	約 3 年 5 ヶ月	約 3 年 3 ヶ月	

(4)入所稼働率

月別実人数、月別延人数及び入所稼働率は、「表-4」となります。月平均の利用者数は 54.9 人でした。平均入所稼働率は 94.6%でした。

月別延日数・入居稼働率

「表-4」

月	入所者実数(月末)	入所者延人数	稼働率
4月	55	1,705	97.9%
5月	57	1,774	98.6%
6月	57	1,656	95.1%
7月	55	1,702	94.6%
8月	54	1,660	92.3%
9月	55	1,644	94.4%
10月	56	1,721	95.7%
11月	56	1,695	97.4%
12月	55	1,659	92.2%
1月	53	1,652	91.8%
2月	54	1,472	90.6%
3月	55	1,687	93.8%
平均	54.9 人	1,668 人	94.6%

(5)入退所の内訳

令和3年度の入退所の内訳は、「表-5」の通りです。今年度は、23名の退所があり、21名の新規入所の受け入れを行いました。入所者は在宅生活が困難となり入所された方が5名、老健・他施設より入所された方が16名、看取らせていただいた方は20名、入院中に亡くなられた方が2名、医療が必要となり施設を退所された方が1名でした。

入退所の内訳

「表-5」

月	入所 実人員	入所内訳		退所 実人員	退所内訳		
		病院又 は施設	在宅		長期入院	死亡	その他
4月	1	1		2		2	
5月	3	2	1	2		2	
6月	2	2		2		2	
7月	1	1		2		2	
8月	1	1		3		3	
9月	2	2		1		1	
10月	2	2		1		1	
11月	1		1	1		1	
12月	2	1	1	3		3	
1月	1	1		3	1	2	
2月	2	2		2		2	
3月	3	1	2	1		1	
合計	21	16	5	23	1	22	0

2. 行事・外出等の状況

- (1) 行事
- (2) レクリエーション活動の状況
- (3) 外出
- (4) ボランティア受け入れ状況
- (5) 地域行事参加・交流
- (6) 預かり金開示

(1) 行事

月々の行事については、季節感を意識しつつ、昔を思い出していただけるような行事となるよう取り組みましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、密にならないよう規模を縮小して実施するなど、感染防止対策をとりつつの実施となりました。

令和3年度実施工事

「表-6」

月	行事名	月	行事名
4月	お花見	10月	地区祭礼参加(中止)
5月	端午の節句(菖蒲湯)	11月	なし
6月	なし	12月	もちつき
7月	七夕	1月	初詣
8月	花火大会 迎え火・送り火	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り



(2)レクリエーション活動の状況

今年度はレクリエーションにつきましても、感染防止策をとりつつの活動となりました。また、換気や消毒、体調不良者への感染対応等で職員の作業量が増加し、レクリエーション活動の時間を確保することが非常に厳しくなっています。レクリエーション活動はご利用者の生活に欠かせないものであるため、業務の見直しやレクリエーションの実施方法の見直し等で対応をとってまいります。

クラブ・レクリエーション活動

「表-7」

活動種類	実施回数	参加延人数	内容
華道クラブ	7	35	季節毎のお花を生け、作品を施設内に展示しました。
園芸クラブ	常時	多数	中庭の畑で玉ねぎ、ジャガイモ、大根、里芋、そらまめ、菜花、ミウガ、大葉などを作りました。
レクリエーション	常時	多数	リハビリ体操、頭の体操、施設内の季節毎の飾りつけ、誕生日会等行いました。

(3)外出

普段であれば、お花見や紅葉狩り、初詣等、入居されている皆様に季節を感じていただけるような外出や、入居前の生活を維持する一環として、あるいは気分転換を兼ねて、施設周辺の散歩や買い物、地域行事の見物、さらにはお墓参りや、一時帰宅など、それぞれのご希望に沿った個別外出に重点を置き外出を計画するところですが、新型コロナウイルスの影響もあり、外出は中止とさせていただきます。

「表-8」

月	外出先	目的	利用者数
4月	中止		
5月	中止		
6月	中止		
7月	中止		
8月	中止		
9月	中止		
10月	中止		
11月	中止		
12月	中止		
1月	中止		
2月	中止		
3月	中止		

(4)ボランティア受け入れ状況

新型コロナウイルスの影響でボランティアの受け入れはありませんでした。

ボランティア活動状況

「表-9」

団体名 (活動内容)	延べ人数
なし	0

### (5) 地域行事参加・交流

地域行事への参加としては、例年、地元祭礼への参加などを中心に個々のニーズに沿った外出等に取り組んでおりましたが、新型コロナウイルスの影響で地域行事自体が中止となり、参加はありませんでした。

地域行事への参加

「表-10」

日 程	内 容
7 月	大原祭礼（中止）
7 月	真浦地区祭礼（中止）
9 月	吉保の祭り（中止）
10 月	地区祭礼（中止）
2 月	抱湖園桜まつり（中止）

### (6) 預かり金の開示

入所者及び家族からの委任により管理を行っている入所者預かり金の出納状況については、ご希望の入所者以外に、家族（身元引受人）に開示・説明を行いました。家族には、3 ヶ月分の出納状況を示した資料を事前に送付させていただき、ご面会の際に台帳の開示・説明をおこない、承認印を受領しました。定期開示は、「表-11」の日程で行いました。また、定期以外にも、預かり金状況の開示・説明を求められた場合には、随時開示に応じています。

預かり金定期開示の状況

「表-11」

預かり金管理期間	定期開示
令和3年1月～3月分	令和3年4月
令和3年4月～6月分	令和3年7月
令和3年7月～8月分	令和3年9月
令和3年9月～12月分	令和4年1月

## 3. 健康管理

- (1) 往診等の状況
- (2) 医療機関への通院状況
- (3) 病院別・入院状況
- (4) 機能維持訓練の状況
- (5) 事故状況

入所者の健康管理については、基本的には嘱託医や歯科医の往診による診療を行い、その他必要に応じて、亀田総合病院、安房地域医療センター等の医療機関に受診しました。また、夜間帯に利用者様に状態変化がみられた際は、夜勤者から携帯当番となっている看護職員へ連絡をし、対応について指示を受けました。状態によっては看護職員が出勤し、嘱託医と連携しながら対応にあたりました。

### (1) 往診等の状況

令和3年度の往診等の状況は、嘱託医の松永醫院（千倉）松永平太医師が毎週木曜日の午後に往診を行いました。歯科治療につきましては、亀田ファミリークリニック歯科センターより毎月第1、第3木曜日の午前に歯科医師が往診し、口腔ケアや虫歯の治療、義歯の作成および調整等を行いました（新型コロナウイルスの感染状況に応じて対応しています）。

### (2) 医療機関への通院状況

令和 3 年度の医療機関の通院状況は、「表-12」の通りです。施設内の医療対応が限界を越えた方に対しては、嘱託医の指示により他医療機関への通院・入院援助を行いました。

「表-12」

	亀田クリニック 亀田総合病院	安房 地域医療センター	松永醫院	その他	合計
合計	16	5	4	4	29
割合	55%	17%	14%	14%	100%

(3) 病院別・入院状況

入院に関しては、「表-13」の通りです。入院理由に関しては、心不全が 2 件、大腿部頸部骨折が 1 件、胆嚢炎が 2 件、脳梗塞が 1 件、脳出血が 1 件、腹膜炎が 1 件、尿路感染症が 1 件、心筋梗塞が 1 件、閉塞性黄疸が 1 件でした。

「表-13」

入院状況	人数	延日数	割合
亀田総合病院	9	196	77%
赤門整形外科内科	0	0	0%
医療センター	2	56	23%
合計	11	252	100%

(4) 機能維持訓練の状況

例年ですと、月に 4 回、亀田病院から理学療法士又は作業療法士が来所し、機能維持訓練を実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの流行で実施できませんでした。

「表-14」

月	PT・OT による機能評価・訓練		月	PT・OT による機能評価・訓練	
	回数	延べ実施者数		回数	延べ実施者数
4 月	中止		10 月	中止	
5 月	中止		11 月	中止	
6 月	中止		12 月	中止	
7 月	中止		1 月	中止	
8 月	中止		2 月	中止	
9 月	中止		3 月	中止	
合計					

(5) 施設内事故状況

「表-15」

	転倒・転落	誤薬	表皮剥離	その他	計
4 月	7	1	3	3	14
5 月	10	0	5	5	20
6 月	2	5	2	5	14
7 月	7	0	6	9	22
8 月	5	4	3	2	14
9 月	5	4	3	2	14

10月	4	2	4	5	15
11月	10	3	2	1	16
12月	6	1	1	3	11
1月	15	0	4	2	21
2月	8	0	1	7	16
3月	12	2	8	2	24
計	91	22	42	46	201

① 重大事故件数(事故後病院受診したもの)  
3件

② 事故報告結果から

事故の内容としては転倒が多くを占め、次いで表皮剥離、誤薬となっています。誤薬に関しては、定期的な予防の声掛けをしていくことで与薬ルールを徹底します。表皮剥離に関しては、引き続き、移乗介助時に四肢の位置確認を確実に行うよう呼びかけ、防止します。転倒については、認知症の為に自身のお身体の状態がわからず転倒に至ってしまうケースが多くみられています。居室でベッドから起きてこられた際の転倒事故などは、目も行き届かず防ぐことは大変難しいのですが、一つ一つの事故をしっかりと振り返り、丁寧に事故分析することで同じ事故を再度起こすことがないように努めてまいります。また、事故のみに着目するのではなく、視野を広く持ち、利用者一人一人の生活全般に目を向け、それぞれに適した防止策を講じることができるよう取り組んでまいります。

新型コロナウイルス対策もあり、特養入居者とショートステイ利用者で居住スペースを分けさせていた対応が対応しています。常時近くでの見守りが必要な方への対応等で非常に難しい場面もみられていますが、感染予防と事故防止が両立できるよう工夫し取り組みます。

#### 4. 家族交流の促進

- (1) 面会者の状況
- (2) 外泊の状況
- (3) 外出の状況

(1) 面会者の状況

入居者への面会状況は、「表-16」の通りです。感染状況に応じて面会を制限させていただきました。

「表-16」

総面会者数	1日の平均面会者数
426人	1.1人

(2) 外泊の状況

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外泊された方はいらっしゃいませんでした。近年の状況としては、介護度の重度化により家族の負担が大きくなっており、外出に切り替えられる方がほとんどで、外泊は近年減少傾向にあります。

外泊

「表-17」

外泊	実人員	延件数	延日数
	0人	0件	0日

(3) 外出状況

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外出された方はいらっしゃいませんでした。

外出 「表-18」

延べ人数	外出先		
	自宅	通院	その他
0	0	0	0

## 5. ショートステイの状況

- (1) ショートステイの稼働率
- (2) ショートステイ介護度別人数
- (3) ショートステイ利用実績の比較

### (1) ショートステイの稼働率

ショートステイの稼働率は、「表-19」の通りです。

「表-19」

	利用延べ人員	利用率
4月	308	85.5%
5月	322	86.5%
6月	294	81.6%
7月	343	92.2%
8月	319	85.7%
9月	337	93.6%
10月	340	91.3%
11月	316	87.7%
12月	337	90.5%
1月	344	92.4%
2月	323	96.1%
3月	364	97.8%
合計	3,947	90.07%

### (2) ショートステイ介護度別人数

ショートステイの介護度別人数は、「表-20」の通りです。要介護度3の方が最も多く、全体の44%となっています。

「表-20」

介護度	人数	構成比
要支援1	0	0%
要支援2	2	5%
要介護1	7	19%

要介護 2	6	16%
要介護 3	16	44%
要介護 4	1	2%
要介護 5	4	11%
合計	36	100%

### (3)ショートステイ利用実績の比較

直近3年間の実績比較は「表-21」の通りとなります。

ショートステイ利用実績の比較

「表-21」

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
定員数	12 人	12 人	12 人
延べ人員	3798	3061	3947
1 月当たりの利用者数	317	255	328
利用率	86.71%	69.88%	90.11%

## 6. 職員研修

(1)外部研修実績

(2)内部研修実績

### (1)外部研修

令和 3 年度は新型コロナウイルス流行の為、外部研修はWeb研修が主となり、受講件数も例年に比べ少なくなっています。

「表-22」

実施時期	研修内容	主催	参加人数
10 月	BCP作成について		1
10 月	LIFE活用に向けて	千葉県高齢者福祉施設協会	3
10 月	安全対策担当者陽性研修	全国老人福祉施設協議会	1
1 月	働き方改革関連法に関する説明会	木更津労働基準監督署	1
2 月	処遇改善研修	高齢者福祉施設協会	1
3 月	通所サービス事業者営業研修	(株)ルネサンス	2
合計		6	9

## (2) 内部研修実績

月に1回、介護職員を中心とした勉強会を開催しました。内容は、リーダー、サブリーダーが中心となり、新人職員に向けた介助方法の説明や、介護現場の課題となっている事柄を取り上げました。

「表-23」

実施時期	研修内容	内容	参加人数
4月	防災関係について	・防災備蓄品について、停電時の照明について、自家発電について、災害に対しての心構え等を話し合う	15
5月	各係活動計画確認	・各係りの活動計画を確認・共有し全職員で取り組めるようにする	16
6月	感染対応と食中毒予防	・感染症対応の手順確認 ・食中毒予防について学ぶ	16
7月	身体拘束及び虐待防止	・スピーチロックや虐待について実際の現場を想定し学ぶ	8
8月	事故防止について	・事故、ヒヤリハットを振り返り、各職員が気を付けていることや意識していること、今後の対応策について	13
9月	感染対策について	・実際に感染対応をとったケースを元にガウンやN95マスクの装着について再確認する	15
10月	身体拘束及び虐待防止	・身体拘束や虐待について事例検討	11
11月	事故防止について	・8月勉強会で話し合った事故対策についての評価 ・事故発生時の対応について確認 ・課題と今後の対応策の確認	12
12月	感染症対策について	・感染対応手順について再確認 ・感染対応物品の取り扱いについて	13
1月	防災・避難について	新型コロナウイルス流行により中止	-
2月	ハラスメントについて	新型コロナウイルス流行により中止	-
3月	今年度の振り返り	新型コロナウイルス流行により中止	-
合計		9	119

## 7. 実習生の受け入れ

今年度は、実習生の受け入れはありませんでした。

## 8. 職員状況

- (1) 職員配置状況
- (2) 資格取得状況
- (3) 入退職の状況

## (1) 職員配置状況

令和3年度職員配置状況

2022年3月31日現在「表-24」

区 分	常 勤	非 常 勤	計 (人)
施設長	1	0	1
総務	4	0	4
相談員	4	0	4
施設介護支援専門員	1	0	1
看護職員	3	0	3
介護職員	21	12	33
営繕・運転	0	2	2
清掃・洗濯等	0	4	4
居宅主任介護支援専門員	1	0	1
居宅介護支援専門員	2	0	2
計	37	18	55

## (2) 資格取得状況

2022年3月31日現在「表-25」

区 分	常 勤	非 常 勤	計(人)
社会福祉士	3		3
社会福祉主事任用資格	9	1	10
主任介護支援専門員	1		1
介護支援専門員	6	1	7
看護師	2		2
准看護師	2	1	3
介護福祉士	18	8	26
ヘルパー1級	1	2	3
ヘルパー2級	3	3	6

## (3) 入退職の状況

令和2年度職員入退職

「表-26」

	入 職	退 職	在 職 職 員 数
4月	介護員非常勤1名		54名
5月		介護員非常勤1名 清掃職員非常勤1名	54名
6月	清掃職員非常勤1名		53名
7月		看護職員非常勤1名	53名
8月			52名
9月	介護員非常勤1名		53名
10月	介護員非常勤1名	介護員常勤1名	53名
11月			53名
12月			53名
1月			53名
2月	介護員常勤1名、非常勤2名		56名
3月	清掃職員非常勤1名	介護員非常勤1名	57名
計	8名	5名	離職率 9.25%

(前年度離職率 7.27%)



## 5. 通所介護(通所介護型サービス)部門

### 【 目 標 】

- 利用者が可能な限り在宅において有する能力に応じ自立した日常生活が送れるよう、心身の機能の維持及び社会的孤立感の解消をおこないます。
- 1日平均20名の利用者数の確保と安定した実績を目標とします。

### 【 重点課題 】

1. 利用者それぞれの状況にあわせた在宅生活継続の為の介助や機能訓練を行います。
2. 利用者の満足度を追及することで長期に利用し充実感や楽しみを感じて頂けるようにします。
3. 利用者、家族のニーズを把握し、他事業所等と連携を密に取ることで柔軟な対応を行います。
4. 多様なニーズに対応できるよう職員の質の向上に取り組みます。
5. 感染症の予防およびまん延防止に取り組みます。

### 【 実践結果 】

1. 利用者の安定した在宅生活の継続と家族が安心して在宅介護が出来るよう支援して参りました。

利用者個々の残存能力や心身の状態、生活環境を把握することで、安定した在宅生活の継続へ活かせるようサービス提供に取り組みました。また、家族とは日々の利用状況や些細な状態の変化に関しても、こまめに情報提供していくことで信頼関係を築き、在宅介護に関する悩みや不安について理解、共有することで共に問題解決へ向け取り組み、在宅生活継続、介護負担軽減の一助となるよう支援してまいりました。

今後はより一層の個々への機能向上および機能訓練への取り組みについて重視されることから、地域リハビリ支援事業として亀田総合病院から派遣される理学療法士や作業療法士も活用させていただき、それぞれの家庭環境に応じたリハビリにも取り組んでまいります。

2. 利用者にとって生きがいや充実した時間となるよう、デイサービス利用を楽しみに感じて頂けるようなサービス提供に取り組みました。

普段外出の機会が少ない方もサービスの利用を通し住み慣れた地域にて知人と顔を合わせ会話を楽しんで頂くことで地域と人との繋がりを感じて頂けるよう環境を整え、また利用者の気持ちを尊重し寄り添い声掛けなど行っていくことで孤独感、社会的孤立の解消、自分の居場所があると感じ利用して頂けるよう努めました。

コロナ禍において例年に比べ出来る行事も限られる中、密を避ける等の環境に配慮し実施しました。敬老会の余興としては利用者が慣れ親しんだ映画を職員が演じ撮影し上映する等、利用者が楽しい一時を味わって頂けるよう取り組みました。個別対応としては創作活動や教材を使った脳トレ問題を活用し余暇活動の一環として行って頂くことやリハビリを兼ね、しめ縄やお飾り作り、畑仕事等、生活習慣や仕事歴、趣味などを取り入れ、今後も利用者個々がやりがいや主体性をもって取り組めるサービス提供を充実していけるよう工夫してまいります。

3. 利用者、家族の希望に応える柔軟なサービス内容の推進及びケアマネジャーと連携を密に取ることで目標稼働率を達成するよう取り組みました。

利用者の気持ちを尊重しつつ家族の希望にも寄り添っていけるよう、利用内容等により柔軟な対応を心掛けました。ケアマネジャーとは日頃から利用状況や家族の要望、自宅での状況についてなど連絡を密にとるよう心掛け信頼関係の構築に努めるようにしました。とくに感染症流行時の受け入れについては、施設の方針や利用者の体調変化など、迅速、丁寧な情報提供を心掛けました。また、新規利用相談等についても、感染予防対応に配慮した上で契約、調査、診断書、カンファレンス等の準備を迅速に行い、相談から利用までの期間短縮に努めました。今後も関係機関については細かな情報提供と丁寧迅速な対応を心掛け、利用を希望される方にスムーズにストレス無くご利用いただけるよう取り組み、地域の皆様のお役に立てるデイサービスを目指します。

4. ご利用者やご家族、地域のニーズにお応えできるよう新しいサービスに取り組みました。

ご利用者やご家族、地域の声を受け、今年は夕食弁当と買い物代行をはじめました。両サービスともご好評をいただいております。今後も地域の皆様のニーズに耳を傾け、それにお応えすることで、地域に必要とされる事業所を目指してまいります。

5. ご利用前のご本人及び同居ご家族の体調確認等で感染症予防に取り組みました。

ご利用前の体調確認や、施設での感染防止策などで感染予防に努めました。長引く新型コロナウイルスへの対応と、感染状況に応じて変化する対応については、それぞれの事業所で異なる対応となることもあり、ご利用者・ご家族が混乱することのないよう、丁寧に説明させていただくことを心掛けてまいりました。今後も感染対策をとりつつもご利用者・ご家族に極力ご不便をお掛けすることがないよう対応策を検討し取り組んでまいります。

【 デイサービス実績 】

(1) 利用実績

デイサービス利用状況前年度比較

「表-27」

	延べ利用者数									1日平均利用者数		
	2020年度				2021年度				差	2020年度	2021年度	差
	要支援	要介護	その他	合計	要支援	要介護	その他	合計				
4月	12	347	0	359	25	376	0	401	42	13.8	15.4	1.6
5月	17	431	0	448	24	371	0	395	-53	17.2	15.2	-2.0
6月	18	445	0	463	30	326	0	356	-107	17.8	13.7	-4.1
7月	16	472	0	488	30	368	0	398	-90	18.1	14.7	-3.4
8月	18	460	0	478	28	291	0	319	-159	18.4	12.3	-6.1
9月	24	457	0	481	24	324	0	348	-133	18.5	13.4	-5.1
10月	22	474	0	496	23	333	0	356	-140	18.4	13.7	-4.7
11月	25	450	0	475	27	362	0	389	-86	19.0	15.0	-4.0
12月	24	465	0	489	30	342	0	372	-117	18.1	13.8	-4.3
1月	18	333	0	351	32	319	0	351	0	14.6	14.6	0.0
2月	20	316	0	336	31	329	0	360	24	14.0	15.0	1.0
3月	25	357	0	382	46	387	0	433	51	14.2	16.0	1.8
合計	239	5007	0	5246	350	4128	0	4478	-768	16.8	14.4	-2.4

デイサービス休業日は日曜日、1/1～1/3

## (2)行事

デイサービス年間行事

「表-28」

月	行事内容	参加人数
4月	春の宴	31名
5月	菖蒲湯	41名
6月	貝殻を使ったアクセサリー作り	47名
7月	七夕	15名
8月	かき氷	25名
9月	敬老会ウィーク	96名
10月	運動会	46名
11月	デイサービス作品展	20名
12月	芋パーティー	38名
	お餅つき	28名
	お飾り作り	3名
	柚子湯	13名
1月	鏡開き	14名
	どんど焼き	2名
	新春双六大会	45名
2月	節分	14名
年間行事	誕生日カード作成	55名
	畑仕事	3名
	おやつ作り	109名

## (3)ボランティア受け入れ

デイサービスボランティア受け入れ実績

「表-29」

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
話し相手													
行事手伝い													
介助補佐													
合計													

※ 新型コロナウイルス流行の為ボランティア受け入れ中止。

## 6. 看護部門

### 【 目 標 】

- 利用者の皆様が健康的な生活を続けられるよう健康管理に取り組みます。
- 健康状態については適宜家族へ報告し、情報共有することで信頼関係の構築に取り組みます。

### 【 重点課題 】

1. 利用者の健康状態の変化を早期に把握し重症化しないよう対応にあたります。
2. 新型コロナウイルス等感染症について予防とまん延防止に取り組みます。
3. 利用者・家族の意向に沿った看取りとなるよう各部連携して取り組みます。
4. 固定概念にとらわれず、良い取り組みがあれば積極的に取り入れ質の向上に取り組みます。
5. 災害時避難者や緊急利用者の受け入れ施設として機能を果たします。
6. 新規入所に際し、利用者・家族の意向を踏まえ、各部が同じ方向を向き協力してサービス提供できるよう取り組みます。

### 【 実践結果 】

1. 利用者の健康状態について早期に把握する為に、各職種間での情報交換を密に行いました。

朝・夕の申し送りの情報や食事摂取量、体重変化、検査結果、又、数値では言い表すことの出来ない言動や、普段をよく知る介護職員からの情報等を活用し対応にあたりました。また、それらの情報を元に、嘱託医と連携することで、むやみな他科受診等で利用者に負担を掛けることなく、また重症化しないよう取り組むことができました。今後も要介護度の高い方や様々な疾病を抱えた方の入所が多くなることが予測されますが、家族、各職種間、嘱託医としっかり連携し、ご利用者の体調管理に努めてまいります。
2. 感染症予防と対応手順について職員へ周知徹底し予防に取り組みました。

毎月開催している感染症対策委員会にて、近隣の流行状況等の共有と、感染症対応のシミュレーションを含めた勉強会を部署ごとに実施してきました。新型コロナウイルスに関しては日々状況が変化する中、施設内では「感染しない」はもちろんですが「感染させない」に重点を置き、自分が無症状感染者だと考え、それでも他者にうつさない為にはどうすればよいかを意識して行動するよう呼びかけました。手洗い手指消毒の徹底、アルコール消毒液は常に持ち歩き都度消毒、マスク着用の徹底、マスクを外した際に会話をしないことの徹底、換気の徹底等どれも基本的な対応ではありますが、それが全職員に徹底されるよう呼び掛けてきました。また利用者に関しては、利用2週間前からの体調や同居ご家族の様子を確認、入居者に体調不良者が出た際の個室対応、嘱託医にも協力いただき、新規入所に際してのPCR検査や抗原検査の実施等で対策をとってまいりました。変異ウイルスの流行等、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、ワクチン接種やPCR検査の定期的な実施等有効な対策に積極的に取り組み、感染予防に努めてまいります。
3. 利用者・家族の気持ちに寄り添い意向に沿った看取りとなるよう取り組みました。

今年度は20名の方を施設で看取らせていただきました。重度化、高齢化が進んでおり、例年に比

べとても多い件数となりました。新型コロナウイルス流行の中、面会等ご家族との交流がとても厳しい状況ではありましたが、看取り期の方には一定の条件のもと感染対策を徹底しご面会いただけるように取り組みました。看取りに関しては、それぞれに様々な考えや想いがあり、家族の中でも意向が異なることも度々です。今後も日頃から本人・家族の気持ちに寄り添い、できる限り意向に沿った看取りとなるよう丁寧に取り組んでまいります。

4. 研修については新型コロナウイルスの影響もありほとんど参加・実施できませんでした。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外部研修への参加はせず、内部研修についてもほぼ実施されない状況でした。今後はWEB研修等を活用し、看取りや感染対策の研修に参加していくことを検討しています。

5. 災害時の避難者や緊急利用者の受け入れがスムーズに行えるよう準備しました。

今年度は災害時の避難者の受け入れや緊急利用はありませんでしたが、今後も対象となる方がみられた際にスムーズな対応がとれるよう準備してまいります。

6. ケアプランやカンファレンスを通じてご利用者・ご家族の意向を踏まえたサービス提供に努めました。

重度化・高齢化が進む中、かつ新型コロナウイルスの流行でご家族との交流機会が極端に少なくなっている中、ご利用者やご家族が入所後の生活に望まれることをスタッフがしっかりと共有しておくことが重要ととらえ、入所段階から意向の確認やその共有に努めてまいりました。ご利用者の心身の状況によってその気持ちに変化がみられることも多い為、場面場面で話し合いの場を設定できるよう心掛け、施設での生活がより充実したものとなるよう取り組みました。

## 7. 栄養部門

### 【 目 標 】

○おいしく、楽しみとなる食事の提供をします。

### 【 重点課題 】

1. 食事が楽しみになるよう配慮していきます。
2. 新型コロナウイルス感染対策を含め、職員の体調管理や衛生管理を強化し、安全な食事の提供を徹底します。
3. 委託業者や各部との連携を強化し、業務を確実に且つ効率的にすすめられるよう取り組みます。

### 【 実践結果 】

1. 嗜好調査データの活用や、季節感や盛り付けを意識し、より食欲が増すように工夫した食事の提供に取り組みました。  
嗜好調査のデータや、食事量、残食量の確認、日々の食事やおやつの様子の観察で嗜好把握に取り組みました。利用者からも直接感想や要望をお伺いし、要望のあったものは献立に取り入れるなどしてより喜んで頂けるよう取り組みました。  
盛り付けに関しては、より食欲が増すよう見た目を工夫し、行事の際はお品書きの作成やメッセージカードを添えた雰囲気作りに取り組みご好評を頂きました。  
嚥下機能に低下がみられる方にはムース食等取り入れ、より安全においしく召し上がっていただけるよう取り組みました。
2. 手順やマニュアルを守り、安全な食事提供に向けチェック体制を強化しました。  
日々の衛生管理や食材の管理は、委託業者のチーフと協力しながら職員の意識向上に努め、安全な食事の提供に取り組みました。  
新型コロナウイルス対策として、厨房職員の体調管理や手洗い手指消毒はもちろんのこと、納品・検品時の手順についても見直しをかけ感染防止に努めています。今後も新型コロナウイルスを含めた食中毒や他感染症にも充分注意し、感染防止対策と衛生管理を徹底して参ります。  
災害に対する備えに関しては、備蓄量の見直しや備蓄使用に関するマニュアルの整備等をすすめてきました。しかしながら、自然災害だけでなく、新型コロナウイルスのクラスター等にも備える必要があり、まだまだ充分ではありません。今後、厨房委託業者はもちろんのこと、他事業所との連携等も視野にいれ対策していく必要があります。
3. 声掛けを意識し、無駄を省くことでミスを減らし、より効率的に業務をすすめられるよう取り組みました。  
委託業者との情報共有については、窓口をチーフとし、それ以外の場合は書面に残すことを徹底し、連絡漏れや情報の行き違いが無いよう取り組みました。  
献立作成については、年間計画や行事の内容、利用者からの要望を予め伝えておくことで、作成や相談の時間を短縮することができました。  
毎日の配膳に関しても声掛けを意識し、事前の段取り確認を行うことで、配膳遅れや配膳ミスを大幅に減らすことができました。今後もこの状態を維持できるよう努めて参ります。  
給食会議で出た意見を確実に反映及び改善できるよう、指摘のあった献立と同じ物を取扱う際は事前に指摘事項を共有し、職員全員が改善点を確認できるよう配膳時にメモを残すようにしました。これにより、会議で同じ指摘が繰り返されることも少なくなり、一品一品の質も改善されました。

## 8. 総務部門

### 【 目 標 】

- 感染防止対策を徹底し、安心して過ごせる環境づくりに取り組みます。
- 業務シェアを確立させ、正確かつ効率的に業務に取り組みます。
- 災害時、非常時には他部署と連携しご利用者の安全を守ります。

### 【 重点課題 】

1. 施設を利用される方々に安心して過ごしていただけるよう、感染防止対策を徹底します。
2. 業務をシェアすることで、それぞれの仕事をチェック、フォローできるよう取り組みます。
3. 経費削減に取り組みます。
4. 災害時、非常時に迅速な対応ができるよう備品を整備します。

### 【 実践結果 】

1. 地域の方々が利用しやすいよう、明るい雰囲気作りと施設内の美化、設備の整備に取り組みました。  
施設を利用される方々に快活な挨拶と丁寧な態度を心掛け、利用しやすいよう明るい雰囲気づくりに取り組みました。また、気持ちよく過ごしていただけるよう敷地内の草刈り、花壇やプランターの花植えを実施するなど環境整備にも取り組みました。設備機器においては、温水ヒーターのメンテナンス、個浴槽の入れ替え及びメンテナンス、給湯配管のメンテナンスを行いました。感染症対策としては新型コロナウイルスワクチン接種の段取りや、基本的な対策を徹底する為の館内アナウンスを実施してまいりました。
2. 事務担当職員内で業務内容を共有し、適宜クロスチェックを行いながら業務を正確にすすめました。  
事務職員間で年間スケジュールを共有し、進捗状況を確認しながら提出物などに漏れが無いよう業務に取り組みました。月初に互いの当月の予定の確認を行い、優先順位を意識し業務にあたることで効率的に業務をすすめることができました。また、業務をシェアし適宜クロスチェックを行うことで正確に業務をすすめました。事務職員間で連携を密にし、フォローし合いながら業務が円滑に進められるよう取り組みました。
3. 水道光熱費や消耗品等について無駄を無くし経費削減に取り組みました。  
水道光熱費は、毎月の推移を確認し、日々節約を意識することで経費削減につなげました。また、エアコンの適切な温度管理や照明の消し忘れがないかなど常に呼びかけ、電気代の削減に取り組みました。設備の保守メンテナンスについては、これまで 1 社にまとめて依頼していたものを、各設備毎に見積をとり、契約を見直すことで経費節減につなげました。
4. 日頃より災害時、非常時の状況を想定し、いざという時に機能できるよう準備しました。  
避難訓練の際、小型発電機の始動訓練や、発電機の設置場所の確認をしました。防災訓練では消火器の使い方なども教わり、災害時に備えました。地震に備えては、高い所からの落下物や避難経路に障害物が無いか点検を実施しました。また、備蓄品はリストを作成し、定期的に点検を行いました。貴重品、備品の持ち出しリストも都度見直しを行なっています。  
新型コロナウイルス対策に関する備品に関しても、マスクやアルコール消毒液等、クラスターにも備えて通常時より多く備蓄しています。感染対策委員会等であがった感染対策品に関しても、適宜用意し、万が一に備えました。



## 9. 居宅介護支援事業所部門

### 【 目 標 】

○地域の方が住み慣れた場所で安心してその人らしく生活をする事が出来るよう、利用者の希望に沿えるケアプランを作成します。

### 【 重点課題 】

1. 関連機関と連携し、利用者が安心して在宅で生活出来るようなケアプラン作りを実施します。
2. 介護支援専門員としての資質向上を目指し、専門性のある対応が出来るよう研修に参加します。
3. 他部署と連携し、花の里が地域に貢献し地域に根ざした施設となるよう広報活動を行います。
4. 自然災害(台風、大雨、断水等)で支援が必要とされた利用者の生活支援を行います。

### 【 実践結果 】

1. 関係機関と連携し、利用者が安心して在宅で生活出来るケアプラン作りを実施しました。  
新型コロナウイルス感染拡大防止対応中ではあったが、必要に応じ病院を訪問、訪問が出来ない際には関連機関と電話や FAX(地域連携シート)等での連携を行い、利用者が安心して在宅で生活出来るようケアプラン作りに取り組みました。  
担当件数は要介護 899件/年、介護予防(総合事業含む) 303件/年のプランを作成し、要介護 1～2と3～5の比率は平均6:4となっております。  
地域包括支援センターとはケア会議の開催を依頼し、民生委員の方にも関わっていただく事で、ご家族の協力があまり得られないケースでもご利用者が安心して生活を送れるよう対応する事が出来ました。
2. 介護支援専門員としての資質向上を目指し、専門性のある対応が出来るよう努めました。  
介護保険の制度改正に伴い、事業所内ではその改正内容を確認しながら業務を実施しました。重要事項説明書では、過去半年間のサービス利用割合の説明書を作成し、ご利用者、ご家族に確認していただきました。介護支援専門員の更新研修はオンラインでの研修となり、1名の介護支援専門員が前期の研修を修了する事が出来ました3月28日には居宅支援事業所が市町村権限になって初めての实地指導があり、三芳分庁舎に訪問しヒアリング方式の指導となりました。指摘事項はありませんでしたが、今後の介護支援専門員不足が課題となっています。
3. 他部署と連携し、花の里が地域に貢献し地域に根差した施設となるよう広報活動を行いました。  
1月5日には、南房総市が主体で開催している「おたがい茶間カフェ」にデイサービスの職員と参加し、花の里が高齢者の窓口として活動している趣旨を説明させていただきました。また、多方面から利用者がおたがいにに関わり合う事で、それぞれが少しでも元気で生活しようとする意欲を感じ、お元気な高齢者の状況を知る良い機会となりました。
4. 自然災害で支援が必要とされた利用者の生活支援を行いました。  
今年度は大きな災害もなく経過しましたが、地震が発生した際にはそれぞれ担当の利用者宅に安否確認の連絡を行い、状況把握に努めました。  
新型コロナウイルスの感染は巷では広がりを見せ、関わりのある事業所でも陽性者の発生が見られました。しかし利用者のサービスには大きな影響はなく経過する事が出来ました。

## 10. 在宅介護支援事業部門

### 【 目 標 】

○地域の高齢者の皆様が自立した在宅生活が送れるよう、身近で安心して相談できる窓口として活動します。

### 【 重点課題 】

1. 行政や地域包括支援センターと連携し、高齢者の課題について対応します。
2. 地域の集まりに出向き、介護保険の説明や出前講座等で地域貢献していきます。
3. 台風、大雨等の自然災害時には、援助が必要な方の支援を行います。

### 【 実践結果 】

1. 行政や民生委員、地域包括支援センターなどと連携し、高齢者の生活に生じた課題(介護・虐待・成年後見等)について対応してまいりました。  
後見人については、基幹型包括と連携し、後見人の手続きから選任までのお手伝いをいただく事が出来ました。虐待ケースについては、2月に健康支援課、包括支援センターとも協力し、ご利用者には施設に無事入所していただく事が出来ました。民生委員との直接的な交流は出来ませんでしたが、独居の方が入院等された際には、電話等で報告を行い、情報の共有に努めました。直接介護保険のサービスに繋がらない方もいらっしゃいましたが、その方には定期的な訪問や電話による相談等で経過を確認させていただきました。  
相談件数は、実人員が49件/年、延べ人数は169件/年となっています。
2. 地域の集まりに出向き、出前講座等での地域貢献に取り組みました。  
1月5日に、南房総市が主体で開催している「おたがい茶間カフェ」に参加し、花の里の在支の活動について話しをする機会をいただきました。地元の人のみではなく、館山市、鴨川市等からの利用者もおり、また行事に縛られない自由なスタイルの利用方法により、一人一人が意欲的に活動する様子をうかがう事が出来ました。12月には Web にて「南房総のお仕事さがし」に施設長、特養職員と参加し、事業所の紹介をさせていただき事で、花の里の広報活動に協力出来ました。
3. 自然災害時には、援助が必要な方の生活支援を行いました。  
今年は台風や大雨の被害はありませんでしたが、地震等が発生した際には、電話等で安否確認をさせていただきました。

社会福祉法人 千葉育美会

浮間こひつじ園

# 令和3年度 事業報告書



特別養護老人ホーム 浮間こひつじ園

## 目次

令和3年度事業概要	78
1. 運営理念と基本方針	79
2. 組織図	80
3. 職員配置状況	81
(1) 職員配置状況	81
ユニット型	81
従来型	81
(2) 資格取得状況	82
ユニット型（複数所持含む、従来兼務者重複記載）	82
従来型（複数所持含む、ユニット兼務者重複記載）	82
(3) 入退職者状況	83
(4) 生きがい就労支援	83
4. ユニット型特別養護老人ホーム	84
(1) 入居者の状況	84
(2) 健康管理	87
5. 従来型特別養護老人ホーム	90
(1) 入居者の状況	90
(2) 健康管理	92
6. 行事食	94
7. 職員研修	95

## 令和3年度事業概要

令和3年度は、新型コロナウイルスの大きな波が起こり日本中大変な状況になりましたが、施設運営につきましては、7月から、林隆春理事長新体制の下、運営理念・運営方針及び基本方針に基づき施設運営を行って参りました。また、10月16日付けにて高岡健一が施設長として着任し、施設運営を引き継ぎました。

これまで、地域との交流が少なく、北区の中でも、埼玉県との県境に位置しているため、地域での認知度が薄く、これからの課題が様々見えて参りました。

そのような中で新型コロナウイルス感染者が、入居者様及び職員に発生してしまい、関係者及びご家族様には、多大なご迷惑とご心配をおかけして、誠に申し訳ございませんでした。感染対策の見直しを図ると共に、現在も継続中ですが、職員の週一回のPCR検査を実施して、感染予防に努めて参りたいと考えております。

入所に関しては、北区では特養の申込受付は北区役所が一括して行い、入居希望者は複数の施設を同時に申し込むことができるが、申込者の意思で断ると名簿から削除されてしまいます。申し込みは、年2回の前期・後期に分かれています。その制度の中で、新規入所に至るまでに時間がかかってしまうところがあるので、北区と連携しながら、問い合わせから入居までの期間を短くするように今後検討していきます。浮間こひつじ園としてのアピールも必要不可欠と捉えております。

そこで、この秋には、ショートステイを開始できるように、準備を進めております。

これまでの開かずのユニットとして、2階東ユニットがありました。この秋には、賑やかなユニットになるように、イベント等も考えております。

最後に新型コロナウイルスの終息が見えない中、入居者様の尊厳を守り、生きがいがあり、楽しい施設生活ができるように、また、感染症が起らない対策を一層行うとともに、万が一発生した場合の対策を行い、施設運営を行って参ります。

施設長 高岡健

## 1. 運営理念と基本方針

### 運営理念

「当たり前前の生活を提供することで暮らしの継続を支えます」

### 運営方針

「ご入居者、ご家族とのつながりを大切に思い、喜怒哀楽をともにいたします」

「地域との関わりを大切に開かれた運営を行います」

「常に考えることができるプロの職員を育成します」

### 基本方針（重点目標）

「ユニットケア、グループケアの意識統一を図ります」

多職種協働の組織形成を行い、ご入居者の生活を支えるための手段を確立します。

「サロン、地域行事等を利用し、地域との交流を図ります」

浮間こひつじ園の周知とともに地域交流スペースの利用促進を進めることにより、社会福祉法人としての役割を担います。

「小集団活動を通じ、職員個々に役割と責任の意識を養います」

組織の役割や委員会、会議等を通じ職員自らが業務を組み立てる感性を育てます。

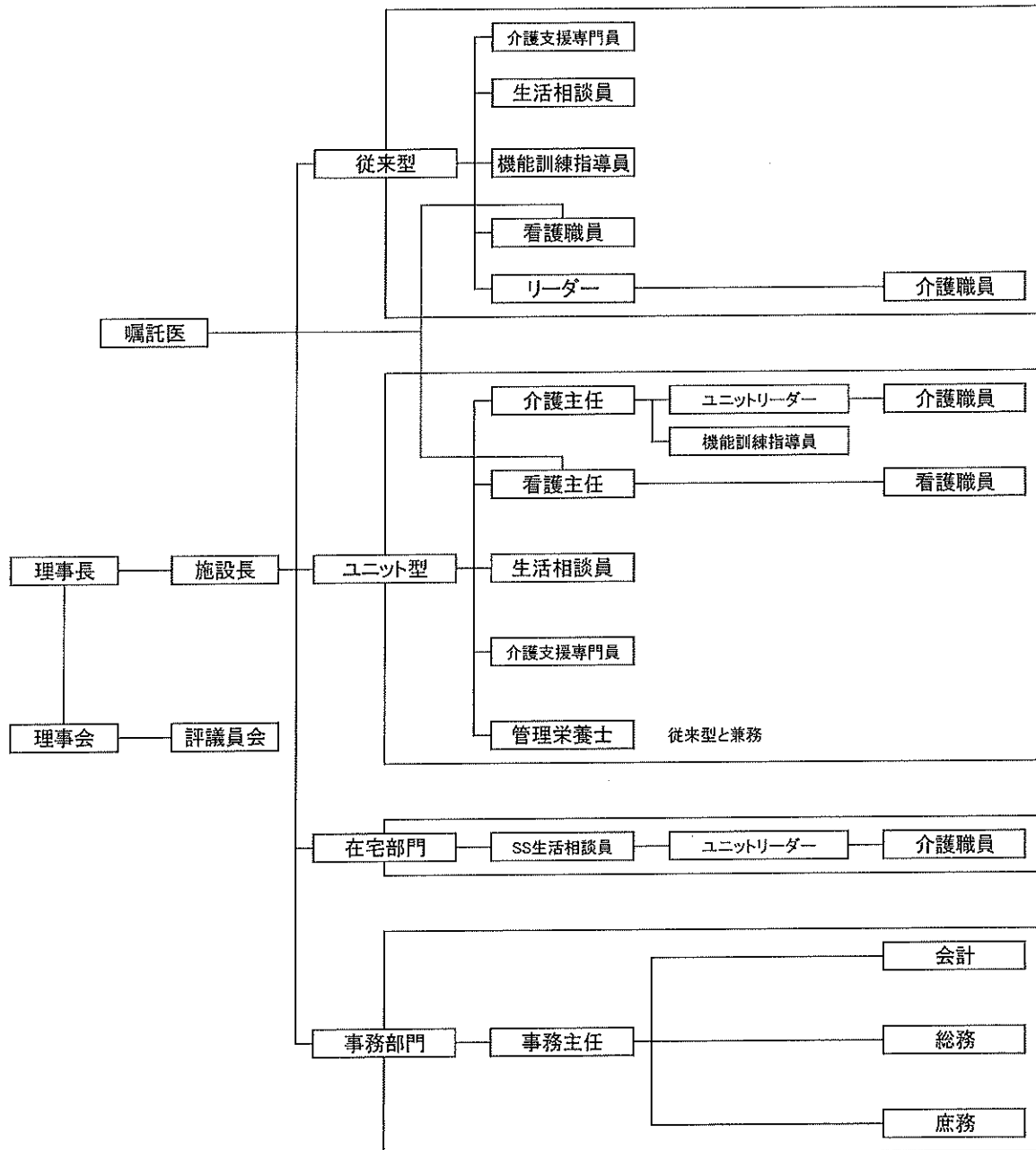
特別養護老人ホームにご入居することで、ご自宅ではできなかったことができるようになることはたくさんあります。しかし、ご自宅できていたことができなくなることもあります。自宅での「当たり前前の生活を提供すること」は浮間こひつじ園で暮らしの継続を支え、ユニットケアの理念に則すると考え、この理念を立てました。

我々職員はご入居者とご家族を繋ぐ架け橋だと考えます。仲を取り持つと言えば大袈裟ですが、ご入居者の感情を大切に、ご家族との思いを繋げていきたいと考えました。

そのためには各職員は自身の仕事に責任とプライドを持ち、かつ謙虚に業務に当たらなければなりません。人間性が強く、仕事なだけにプロとしての自覚が求められると考えます。

【組織人としての意識】、【役割と責任】を一人一人の職員が持てるように指導していきたいと考えます。

## 2. 組織図



### 3. 職員配置状況

#### (1) 職員配置状況

##### ユニット型

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
施設長（従来兼務）	1	0	0	1
生活相談員（介護支援専門員兼務）	1	0	0	1
介護支援専門員（常勤は相談員兼務）	1	0	0	1
介護職員	12	12	16	40
看護職員	2	2	0	4
機能訓練指導員（従来兼務）	1	0	0	1
栄養士（従来兼務）	1	0	0	1
事務員（従来兼務）	1	0	0	1
嘱託医（従来兼務）	0	1	0	1
シニアスタッフ	0	14	0	14

令和4年3月31日現在

##### 従来型

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
施設長（従来兼務）	1	0	0	1
生活相談員（介護支援専門員兼務）	1	0	0	1
介護支援専門員（相談員兼務）	1	0	0	1
介護職員	9	5	5	19
看護職員	1	0	0	1
機能訓練指導員（従来兼務）	1	0	0	1
栄養士（従来兼務）	1	0	0	1
事務員（従来兼務）	1	0	0	1
嘱託医（従来兼務）	0	1	0	1
シニアスタッフ	0	2	0	2

令和4年3月31日現在



## (2) 資格取得状況

### ユニット型（複数所持含む、従来兼務者重複記載）

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
介護福祉士	5	4	1	10
実務者研修	2	1	2	5
初任者研修	1	5	1	7
看護師	2	1	0	3
准看護師	0	2	0	2
社会福祉士	0	0	0	0
社会福祉主事任用資格	0	0	0	0
介護支援専門員	1	0	0	1
柔道整復師	1	0	0	1
管理栄養士	1	0	0	1

令和4年3月31日現在

### 従来型（複数所持含む、ユニット兼務者重複記載）

区 分	常 勤	非 常 勤	派 遣	計
介護福祉士	1	1	0	2
実務者研修	0	1	0	1
初任者研修	2	2	2	6
看護師	1	0	0	1
准看護師	0	0	0	0
社会福祉士	1	0	0	0
社会福祉主事任用資格	0	0	0	0
介護支援専門員	1	0	0	1
柔道整復師	1	0	0	1
管理栄養士	1	0	0	1

令和4年3月31日現在

### (3) 入退職者状況

	入職	退職	合計
4月	3名	0名	3名
5月	4名	2名	6名
6月	7名	1名	8名
7月	5名	2名	7名
8月	3名	2名	5名
9月	3名	4名	7名
10月	1名	5名	6名
11月	2名	5名	7名
12月	3名	1名	4名
1月	2名	2名	4名
2月	1名	0名	1名
3月	2名	5名	7名
合計	36名	29名	離職率 52.7%

### (4) 生きがい就労支援

近所の住民の方にも浮間こひつじ園を知っていただくため、ユニット内での調理補助や清掃、リネン交換を近隣の高齢者等の方に短時間でも仕事として従事してもらっています。

介護職員が行わなくても、日常、家庭で行われていることやこれまで長年職業として従事していた方々に行ってもらっています。そのことにより介護職員の負担も減り、より効率的な動きが取れるようになっていきます。

現在、浮間こひつじ園では

調理補助として8名、

調理補助+リネン交換、清掃として3名、

施設内清掃として3名、営繕・ドライバーとして2名の方が従事しています。

#### 年齢・性別分布

年齢層	男性	女性	合計
65歳未満	2名	3名	5名
65歳～70歳	0名	2名	2名
71歳～75歳	2名	4名	6名
76歳～80歳	1名	2名	3名
合計	5名	11名	16名

#### 4. ユニット型特別養護老人ホーム

##### (1) 入居者の状況

###### ①年齢・性別状況

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満	0名	0名	0名	0%
60歳～64歳	0名	0名	0名	0%
65歳～69歳	1名	0名	1名	1%
70歳～74歳	1名	1名	2名	0%
75歳～79歳	1名	2名	3名	4%
80歳～84歳	1名	2名	3名	5%
85歳～89歳	1名	22名	23名	38%
90歳～94歳	2名	19名	21名	34%
95歳～99歳	2名	6名	8名	10%
100歳以上	1名	2名	3名	4%
合計	10名	54名	64名	≒100%
平均年齢			89.32歳	

###### ②要介護度の状態区分

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0名	1名	1名	0%
要介護2	5名	5名	10名	5%
要介護3	5名	14名	19名	29%
要介護4	4名	19名	23名	49%
要介護5	2名	17名	19名	17%
合計	16名	56名	67名	≒100%
平均要介護度	4.3	4.3	4.3	

###### ③負担限度額取得済者数

	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
人数	0名	4名	21名	39名	64名
構成比	0%	9%	31%	60%	≒100%

###### ④在籍期間

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	1名	4名	5名	%
1年以上2年未満	2名	11名	13名	%
2年以上3年未満	3名	22名	25名	%
3年以上	2名	19名	21名	%
合計	8名	56名	64名	≒100%

⑤月別人数・入居稼働率

	入所者実数	入所者延日数	稼働率
4月	70名	2070日	98.6%
5月	69名	2080日	95.9%
6月	69名	1967日	93.7%
7月	68名	2075日	95.6%
8月	66名	2039日	92.7%
9月	69名	1939日	97.1%
10月	69名	2064日	96.5%
11月	68名	2035日	96.9%
12月	69名	2114日	97.4%
1月	68名	2100日	96.8%
2月	67名	1876日	95.7%
3月	67名	2012日	92.7%
平均	62.5名	2039.4日	95.8%

⑥入退居者の状況

入退居 内訳	入居 実人員	入居内訳		退居 実人員	退居内訳			
		施設病院	在宅		在宅	長期入 院	病院逝 去	看取り
4月	2名	1名	1名	2名	0名	0名	2名	0名
5月	1名	0名	1名	1名	0名	0名	1名	1名
6月	3名	2名	0名	3名	0名	1名	1名	1名
7月	2名	2名	0名	3名	0名	3名	0名	0名
8月	1名	1名	0名	1名	0名	0名	0名	1名
9月	4名	2名	2名	1名	1名	0名	0名	0名
10月	1名	0名	1名	2名	0名	0名	1名	1名
11月	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
12月	1名	0名	1名	1名	0名	0名	1名	0名
1月	0名	0名	0名	1名	0名	0名	1名	1名
2月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
3月	0名	0名	0名	3名	0名	0名	1名	2名
合計	15名	9名	6名	19名	1名	4名	8名	7名

⑦入居調整

	名簿問合せ	アセスメント	入居判定可	入居判定不可	実入居
4月	1件	1件	1件	0件	2名
5月	6件	2件	1件	1件	1名
6月	42件	4件	4件	0件	2名
7月	15件	2件	2件	0件	2名
8月	12件	4件	3件	1件	1名
9月	6件	1件	0件	1件	1名
10月	9件	2件	2件	0件	1名
11月	4件	0件	0件	0件	1名
12月	7件	2件	2件	0件	1名
1月	0件	0件	0件	0件	0名
2月	0件	0件	0件	0件	0名
3月	0件	0件	0件	0件	0名
合計	102件	18件	15件	3件	12名

⑧食事状況

全介助	一部介助	見守り	自立	計
12名	8名	35名	8名	63名

⑨食事形態状況

主食		副食	
形態	人数	形態	人数
常食	22名	常食	14名
全粥	24名	一口大	16名
軟飯	14名	刻み	22名
ミキサー	3名	極刻み	7名
経管栄養	1名	ミキサー	4名
合計	64名	合計	63名

⑩入浴状況

全介助	一部介助	自立	計	個浴	リフト	機械浴
38名	27名	3名	68名	1名	51名	16名

⑪移動状況

車椅子	リクライニング 車椅子	ティルト式 車椅子	歩行器・杖	合計
49名	3名	3名	13名	68名

## (2) 健康管理

### ①医療機関への通院状況

#### 受診病院と受診理由

浮間舟渡病院	2件
健康長寿医療センター	8件
北医療センター	63件
明理会中央総合病院	9件
帝京大学附属病院	4件
その他	15件
合計	115件

定期受診	35件
発熱	3件
整形外科	12件
皮膚科	23件
内科	11件
その他	31件
合計	115件

#### 月別受診件数

4月	7件
5月	4件
6月	9件
7月	11件
8月	12件
9月	6件
10月	13件
11月	10件
12月	11件
1月	10件
2月	8件
3月	14件
合計	115件

### ②病院別・入院状況

	人数	延べ日数
佐藤病院	1名	15日
浮間舟渡病院	2名	33日
北医療センター	14名	129日
健康長寿医療センター	1名	18日
赤羽リハビリテーション病院	0名	0日
戸田病院	0名	0日
練馬総合病院	0名	0日
赤羽中央病院	0名	0日
高島平中央総合病院	2名	34日
板橋中央総合病院	0名	0日

### ③医療行為一覧

胃瘻	褥瘡処置	点滴	酸素療法	吸引
0名	0名	0名	0名	0名
尿道留置カテーテル	インスリン注射	血糖測定	ウロストミー	人工肛門
3名	0名	0名	1名	2名

④看取り介護の状況報告

	性別	年齢	主な既往	看取り 開始日	看取り 終了日	看取り 日数
1	女性	91歳	廃用症候群 変形性膝関節症	4月29日	5月5日	7日
2	男性	91歳	アルツハイマー型認知症	6月3日	6月13日	11日
3	女性	89歳	アルツハイマー型認知症・貧血	7月29日	8月13日	16日
4	女性	95歳	左前頭葉脳腫瘍疑い	10月12日	10月21日	10日
5	男性	88歳	アルツハイマー型認知症	1月11日	1月23日	13日
6	男性	90歳	アルツハイマー型認知症・脳梗塞等	3月7日	3月9日	3日
7	女性	94歳	認知症・大腸がん術後	3月4日	3月5日	2日

トピックス

5月5日 A様 ご逝去

氏名 A様 女性  
 生年月日 昭和4年12月 日 91歳  
 要介護度 要介護5  
 キーパーソン A様 長男  
 入居日 平成30年1月 日  
 主疾患 廃用症候群 変形性膝関節症  
 死因 老衰

北区十条生まれ。18歳で朝日新聞カメラマンの御主人と結婚し、3男1女を育てた。専業主婦であるが、民生委員を27年勤め、華道の教室を開き、近隣住民の信頼を得ていた。変形性膝関節症で車イス生活となり、徐々に廃用がすすみ老健さくらの杜、カウピリ板橋を経てH30.1. 当園入居。

入居後、結石性腎盂腎炎 (R1. 8. 23～9. 3 北医療センターでステント留置)、急性肺炎 (R1. 10. 15～25 北医療センター)、右結石性腎盂腎炎 (R1. 12. 17～12. 20 北医療センターでステント除去)、尿路感染症 (R2. 8. 21～9. 26 浮間舟渡病院) で入院。最後の入院以降は、食事介助も必要となりティルト式車イスを使用し全介助となっていた。R3. 4. 21、血圧低下にて家族様に来園いただき看取り介護についての事前確認書を作成。R3. 4. 29、ICにて回診医から状態を説明していただき、延命は希望しないと家族様から承り看取り介護を開始。R3. 5. 5、御逝去となった。

6月13日 B様 ご逝去

氏名 B様 男性  
 生年月日 昭和5年2月 日 91歳  
 要介護度 要介護5  
 キーパーソン B様 妻  
 入居日 令和元年10月 日  
 主疾患 アルツハイマー型認知症 廃用症候群 症候性てんかん  
 死因 老衰

北区王子生まれ。造幣局に勤めたのち、民間企業へ転職した。息子は二人とも愛知県豊田市に居を構えたため、東京で奥様と二人暮らしを続けていた。

平成24年に胃がん手術、平成31年に白内障手術を受け、また、意識消失での入院等(原因不明)で廃用症候群が進み、80歳を超えた奥様一人での介護は困難となり当園入居となった(R1. 10.)。穏やかな性格で、安定して園生活を送られていたが本年4月下旬頃から徐々に活気が失われ、5月

下旬頃から介助してもほとんど食事を召し上がれなくなり東京北医療センターへ入院した（5/26～6/3）。しかし、各種検査結果に異常はなく、食思不振は年齢によるものでこれ以上の経口摂取は望めないとの診断を受けた。

病院で胃瘻や点滴等、延命についても家族様は説明を受けられたが、胃瘻は望まれず、療養型へ移って点滴を受けて数か月寿命を延ばしても面会が叶わないのであれば、なじみの園に戻って、面会させてもらいながら自然な最期を迎えさせたいと希望を受け、当園で看取りを行った。

#### ⑤施設内事故状況

##### 事故件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	-
事故件数	8件	18件	7件	21件	15件	18件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	12件	14件	16件	13件	21件	20件	183件

##### 分類

転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
53件	75件	32件	0件	5件	18件	183件

##### 行政報告

転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
2件	0件	0件	0件	0件	0件	2件



## 5. 従来型特別養護老人ホーム

### (1) 入居者の状況

#### ①年齢・性別状況

	男性	女性	合計	構成比
60歳未満	0名	0名	0名	0%
60歳～64歳	0名	0名	0名	0%
65歳～69歳	1名	0名	1名	4%
70歳～74歳	1名	0名	1名	4%
75歳～79歳	1名	1名	1名	4%
80歳～84歳	1名	0名	1名	4%
85歳～89歳	2名	9名	11名	42%
90歳～94歳	3名	3名	6名	26%
95歳～99歳	0名	3名	3名	12%
100歳以上	1名	0名	1名	4%
合計	10名	16名	26名	≒100%
平均年齢			87.7歳	

#### ②要介護度の状態区分

介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0名	0名	0名	0%
要介護2	0名	0名	0名	0%
要介護3	2名	8名	10名	39%
要介護4	7名	5名	12名	46%
要介護5	1名	3名	4名	15%
合計	10名	16名	26名	≒100%
平均要介護度	3.9	3.7	3.76	

#### ③負担限度額状況

1段階	2段階	3段階	4段階	合計
0名	6名	12名	8名	26名
0%	23%	46%	31%	構成比

#### ④在籍期間

在籍期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	2名	10名	12名	46%
1年以上2年未満	1名	0名	1名	4%
2年以上3年未満	2名	2名	4名	15%
3年以上	3名	6名	9名	35%
合計	8名	18名	26名	≒100%

⑤月別人数・入所稼働率

	入所者実数	入所者延日数	稼働率
4月	18名	540日	60.00%
5月	19名	581日	62.47%
6月	19名	570日	63.33%
7月	19名	589日	63.33%
8月	19名	589日	63.33%
9月	18名	551日	61.22%
10月	18名	558日	60.00%
11月	20名	571日	63.44%
12月	19名	616日	66.23%
1月	20名	592日	63.65%
2月	20名	560日	66.66%
3月	26名	684日	73.54%
平均	20名	583.4日	63.93%

⑥入退居者の状況

入退居の内訳	入居実人員	入居内訳		退居実人員	退居内訳		
		施設病院	在宅		長期入院	病院逝去	看取り
4月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
5月	1名	0名	1名	0名	0名	0名	0名
6月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
7月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
8月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
9月	0名	0名	0名	1名	0名	1名	0名
10月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
11月	2名	2名	0名	0名	0名	0名	0名
12月	0名	0名	0名	1名	0名	0名	1名
1月	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名
2月	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
3月	6名	4名	2名	0名	0名	0名	0名
合計	10名	7名	3名	2名	0名	1名	1名

⑦入所調整

	名簿問合せ	アセスメント	入居判定可	入居判定不可	実入居
4月	0件	0件	0件	0件	0名
5月	0件	0件	0件	0件	0名
6月	0件	0件	0件	0件	0名
7月	0件	0件	0件	0件	0名
8月	9件	1件	0件	0件	0名
9月	3件	0件	0件	0件	0名
10月	3件	1件	1件	0件	1名
11月	0件	0件	0件	0件	0名
12月	3件	1件	0件	0件	1名
1月	16件	7件	7件	0件	7名
2月	0件	0件	0件	0件	0名
3月	0件	0件	0件	0件	0件
合計	34件	10件	8件	0件	9名

⑧食事介助状況

全介助	一部介助	見守り	自立	計
1名	4名	9名	10名	24名

⑨食事形態状況

主食		副食	
形態	人数	形態	人数
常食	9名	常食	8名
全粥	10名	一口大	3名
軟飯	4名	刻み	9名
ミキサー	1名	極刻み	1名
経管栄養	0名	ミキサー	3名
合計	24名	合計	24名

⑩入浴状況

全介助	一部介助	自立	計	個浴	リフト	機械浴
5名	19名	2名	26名	2名	19名	5名

⑪移動状況

車椅子	リクライニング車椅子	ティルト式車椅子	歩行器・杖	合計
17名	2名	1名	6名	26名

## (2) 健康管理

①医療機関への通院状況

浮間舟渡病院	4件	定期受診	12件
健康長寿医療センター	0件	発熱	0件
北医療センター	5件	整形外科	1件
明理会中央総合病院	0件	皮膚科	1件
帝京大学付属病院	0件	内科	0件
その他	8件	その他	3件
合計	17件	合計	17件

月別受診件数

4月	0件
5月	0件
6月	6件
7月	0件
8月	2件
9月	2件
10月	2件
11月	0件

12月	2件
1月	0件
2月	2件
3月	1件
合計	17件

②病院別・入院状況

	人数	延べ日数
佐藤病院	0名	0日
浮間舟渡病院	17名	116日
北医療センター	1名	8日
健康長寿医療センター	0名	0日
赤羽リハビリテーション病院	0名	0日
戸田病院	0名	0日
練馬総合病院	0名	0日
赤羽中央病院	0名	0日
高島平中央総合病院	1名	1日
合計	19名	125日

③医療行為一覧

胃瘻	褥瘡処置	点滴	酸素療法	吸引
2名	1名	0名	0名	0名
尿道留置カテーテル	インスリン注射	血糖測定	ウロストミー	人工肛門
1名	0名	0名	0名	0名

④看取り介護の状況報告

該当なし

⑤施設内事故状況

事故件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	-
事故件数	9件	8件	4件	4件	3件	10件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	7件	6件	1件	1件	4件	4件	61件

分類

転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
7件	43件	4件	1件	3件	3件	61件

行政報告

転倒転落	外傷	薬関係	離設	異食	その他	合計
0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

## 6. 行事食

季節の食事はもちろんのこと、日々の食事もご入居者様が目で見て楽しんでもらえるよう委託業者と協力して提供しております。  
行事食の日に合わせ、行事にちなんだランチョンマットを用意しています。



敬老のお祝い



春のお弁当



正月お祝い膳



雛祭り手鞠寿司



イチゴでサンタを

## 7. 職員研修

コロナ禍において密になる可能性があるので内部研修を減少し、外部研修は殆ど開催されませんでした。

### (1) 内部・外部研修実績

4月	身だしなみ		
5月	感染対策について		
6月	看取り研修		
7月	身体拘束廃止について		
8月	介護技術の基本	新入職員導入研修	
9月	感染防止対策	ガウンテクニック	
10月	おむつ交換研修		とろみ調整食品学会
11月	ガウンテクニック実践研修		嚥下調整食研修
12月	看取り研修		都高福協栄養研修委員会
1月	身だしなみ（書面研修）		
2月	誤薬防止研修		
3月	身体拘束廃止について		



社会福祉法人 千葉育美会  
令和3年度 事業報告書  
編集：千葉育美会 本部  
令和4年6月25日発行